

全競技完走の難しさを痛感

Presentation プレゼンテーション



大会参戦2年目となる今年度はマシンコンセプトをComfortable Machine と定め、ロングホイールベースを採用したことによる安定した操縦性かつ高い整備性を得られるよう設計しました。

フレームは軽量化を図り、かつ高い剛性を発揮するよう解析を用いて設計しました。また、エンジンルームを広く取ることによって、高い整備性を実現しました。パワートレインは600cc4気筒エンジンを採用し、この高いパフォーマンスを確実に路面に伝えられるよう設計しました。吸気系はレスポンス向上のためにサージタンクの大きさ、形状を適正化しました。エキゾーストマニフ

ールドは官能的なサウンドとともに排気の抜けの良さを重視し、等長4-1集合を採用しました。また、燃料系はインラインポンプの採用により高い整備性を得ています。冷却系はサイドカウルで導風し、高い冷却性能を得るように設計しました。サスペンションは旋回時の路面接地性を考慮して、不等長非平行アームを採用しました。剛性にこだわりすぎた昨年度の反省から各部の必要な強度を考え、アームの径を細くするなどして軽量化にも努めました。ステアリングはシャフトの改良とスクラブ半径の最適化により操作力を低減しました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 55位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私達NEXT. Formula Projectは2007年春に発足し、学生フォーミュラ大会に出場すべく知識、技術の習得に尽力してきました。そして昨年、念願の大会初出場を果たすことが出来ました。今年度は全競技完走と総合30位獲得を目標として活動してきました。

Team-member

チーム代表者・高橋直之

上本竜也、森山佑蔵、目黒祐太、高橋 慶、浦田泰宏、景山 純、菅原諒平、渡部 尊、池浦正人、奥田健志、鶴田英文、南雲俊宏、山下泰樹、(FA) 田村武夫、(FA) 羽田卓史

Participation report 参戦レポート

大会参加2年目になる今年度は車検をスムーズに通し、動的種目全てに出場することを目標に準備してきました。

私達のチームは2日目からの参加で、その日の車検にてフレームの不具合等の不通過になる部分も所々出てきてしまい、その部分を静岡理科大学様の工場をお借りして修理しました。

3日目の朝、車検を受けようとしたところステアリングの不具合等のトラブルに見舞われたため、午前一杯車検に時間がかかり、結果としてアクセルレーション、スキッドパッドに出走出来ませんでした。また、午後は騒音試験を一発でパスできず、その修正を午後行いました。その後オートクロスに出走しましたが、完走することはできませんでした。また、順位によりエンデュラン

スは最終日ということになりました。

4日目はプラクティスを行い、最終日に備えました。

5日目、エンデュランスは午前の早い時間に出走でした。

エンデュランスがスタートし、マシンは順調な走行を続け、タイムも周回を重ねるごとにアップしていき、10周終了しピットインしたところで、車検員の方より冷却水が沸騰し、キャッチタンクの水が溢れているとの指摘を受け、リタイアという結果になりました。

昨年よりも良い結果とはいえませんでした、動的審査に進めたのが何より大きな収穫でした。

今年度ご支援いただいた皆様、誠にありがとうございました。

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、ニイガタ・ローディング・システムズ、レーシングサービスワタナベ、和光ケミカル、住友ゴム工業、NTN、東北ラヂエーター、FCデザイン、ソリッドワークス・ジャパン、日信工業、エフ・シー・シー、上野商会、桑原インターナショナル、新潟大学工学部機械システム工学科

2010年夏 YFTの活動

Presentation プレゼンテーション

マシン名▶▶ YFT03



今年度は“シンプル・信頼性・軽量化”を車両コンセプトとしました。この基本コンセプトと、昨年度のYFT02の開発過程で得たノウハウやデータを基に、新車両YFT03の開発を行ってきました。

具体的にはYFT02を踏襲しながらも、より操作性・製作性・整備性を重視したシンプルな設計としています。これにより、ドライバーへの負担を軽減することはもちろん、イニシャルコストの低減、円滑な製作を可能とし、結果として生産性の向上も期待できる車両となっています。さらに、昨年度同様、車両を分解せずにメンテナンスが可

能な構造とし、整備や調整のしやすさを考慮した設計としている他、昨年度のマシンに不足していた各部品の耐久性、精度、ガタの軽減などを改善し、全種目完走に耐えうる信頼性のある車両としています。

また、今回は軽量化も基本方針とし、運動性能の向上のみに留まらず、ランニングコストの低減に努めました。これにより、社会情勢の変化に伴う省エネルギー化にも対応しています。

我々は以上を基本コンセプトとし、人を選ばずに誰でも簡単に扱えて、フォーミュラカーの楽しさや基礎を学べ、運動性能向上や省エネルギー化も考慮したマシンを目指しました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 60位

Participation report 参戦レポート

1. 静的審査

・プレゼンテーション審査

昨年度は不本意な結果に終わったプレゼンテーションでしたが、残念ながら今年度も大きな得点増加を成し遂げることができませんでした。原因としては、プレゼンテーション作成に時間が割けなかったこと、裏付けデータの不備などが挙げられると思います。今回の反省点を生かし、さらに良いものを作り上げられたらと感じました。

・コスト審査

静的審査の中ではまずまずの成績でした。しかしながら、こちらもデータの裏付けをさらにしっかりと行っておけば、より高得点が狙えたと思います。データの裏付け資料の見直しは来年度の課題となりそうです。

・デザイン審査

デザイン審査では、自分たちの設計をもう一度見つめ直すことが必要と感じました。合理的で無駄のない、レーシングマシンのデザインとはいかなるものかよく考えることが重要です。これを踏まえて、来年度は足回り関連を中心に大幅な設計変更を検討する予定を立てました。

2. 動的審査

車検を通過することができず、残念ながら動的審査の出場は見送りとなりました。車検官の方々よりいろいろとアドバイスをいただきましたので、来年度につなげていき、次こそは動的審査出場を果たしたいと思います。



Profile

チーム紹介・今までの活動

Yamagata Formula Teamは2007年に誕生し、今年で4年目のチームです。昨年チーム初となるマシンが完成し、第7回大会に参戦したものの、走ることができませんでした。今年は、昨年のマシンを着実に進化させて、目標である全種目完走に向けて活動してきました。

Team-member

チーム代表者・吉田和正

田村一樹、山本雄大、遠藤真之、鈴木雄馬、高橋雄大、真坂洋平、松本康平、森田好彦、諸橋 悟、佐々木剛、稲垣和崇、(FA) 大町竜哉、(FA) 小笠原英範

Sponsors スポンサーリスト

本田技研工業、丸八鉄工所、和光ケミカル、ソリッドワークス・ジャパン、ミスミ、NTN、日高精機、日信工業、エフ・シー・シー、ハイレックスコーポレーション、協和工業、オーエスジー、プロト、レーシングサービスワタナベ、モディ、住友軽金属工業、小原歯車工業、社団法人米沢工業会、ウエストレーシングカーズ、鍋屋パイテック

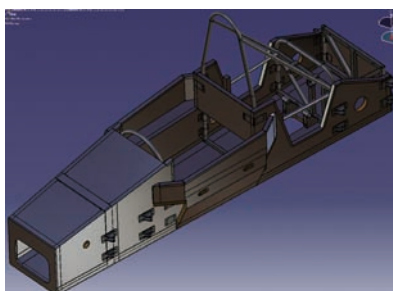
ドライバー第一

Presentation プレゼンテーション



我々は「ドライバー第一」というコンセプトです。これはドライバーの視点から車両の設計・製作をすることで楽しく安全なドライビングを実現することにしました。ドライバーにとって一番の車をつくるにはどのようにすればよいのか。操縦性、安全性、乗り心地といった面でいかにドライバーの立場で一番よい選択肢を選ぶか。つくる車両の終着点はドライバーにとって一番良い車両であること。車両設計製作また活動において様々な選択肢に対してドライバー第一な選択肢を選ぶこと。それらをすべて集約したのが「ドライバー第一」というコンセプトです。設計では最適なドラ

イビングポジションを最初に決めてからパーツの位置取りを決定。ドライビングポジションは一般に販売しているスポーツカーに近い運転姿勢になるよう設計されています。これは一般ユーザーがフォーミュラスタイルの車を楽しく快適に運転できるようにしたからです。タイヤの位置は、ドライバーの足先より前に置くことで、万が一、前方から衝突した場合にドライバーへの危険をタイヤによって抑える事ができるよう安全な位置取りとなっております。そして、本校の特徴であり伝統でもあるアルミハニカムモノコックフレームは、今年は車両全体にハニカムパネルを用いたアルミハニカムフルモノコックフレームとなりました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 69位



Profile

チーム紹介・今までの活動

チーム名をSTARにしてから4年、大会では珍しいアルミハニカムモノコックフレームを採用してから6年目となり、今年はアルミハニカムフルモノコックフレームの車両で挑んだ大会でした。そして、今年で7年連続出場となりました。

Team-member

チーム代表者・佐藤 光

縣 渉、秋葉勇二、伊澤孝太、植村賢太郎、木下政幸、栗田祐介、黒崎雄之、佐藤 光、松浦康祐、村田俊樹、石崎龍ノ介、宮内 健 (FA) 亀井延明、(FA) 石井友之、(FA) 江川庸夫、(FA) 松村 誠、(FA) 宮本昌幸、(FA) 川原万人

Participation report 参戦レポート

車検の早期突破、全動的種目出場を目標にしていましたが、車検の通過ができず、動的種目に出場できず、総合成績69位という非常に残念な結果に終わってしまいました。これは車両が未完成で大会に臨まなくてはならなかったからであると思います。メンバー一丸となって車両製作に取りかかりましたが、車両が大会前日に破損してしまうトラブルに見舞われてしまいました。大会期間中も全力で直そうとしましたが、時間は刻一刻と過ぎてしまい、結局大会3日目の最後の技術車検に間に合いませんでした。せめてプラクティスエリアで走らせたいと4日も頑張りましたが、車両が完成することなく今年の大会は終わってしまいました。

今回の大会では車両を完成させることができ

ず、静的審査にも力を入れていなかったことが敗因です。来年度大会では静的審査に手を抜かず、早期車体完成を目指し、得点を取っていければ、今年以上の順位は狙えるだろうと感じています。

Sponsors スポンサーリスト

ブリヂストン、MYZ、NTN、R&D SPORT、昭和飛行機工業、真幸電機、ソリッドワークス・ジャパン、平ゴム工業所、プレニー技研、本田技研工業、有楽商事、明星大学関連明星大学 育星会 (父母会)

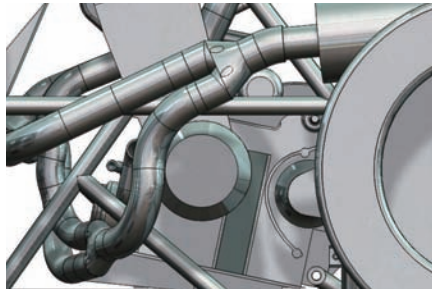
オートクロスで第3位獲得!!

Presentation プレゼンテーション



私達の車両は軽量・低重心・低慣性ヨーモーメントというレーシングカーの最も基本的な要素をコンセプトに掲げました。各パートがこのコンセプトに合うように試行錯誤しながら設計を進めました。オイルパンを元来のものから変更し、扁平にすることによりエンジン搭載位置を30mm以上下げることによりエンジン搭載位置を30mm以上下げることによりエンジン搭載位置を30mm以上下げることによりエンジン搭載位置を30mm以上下げることによりエンジン搭載位置を30mm以上下げることが出来たりと各パート特色のある車両が出来たと思っています。実際に車重は235kgと4気筒600ccのエンジンを積んでいる車両の中では軽量な車体

に仕上がりました。また、マニュアルトランスミッションですが左足ブレーキも出来るようにステアリングをホイール下部ではなく、ホイール上部に取り付けてあります。このようにドライバーが運転しやすいような工夫もいくつか施してあります。4ナンバーワゴン車や軽自動車など幅広い車種に積載可能とコンパクトな車体になっており車体の移動が容易になっています。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 34位
オートクロス賞 3位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私達はチームメンバーが10人弱と少ないですが、それぞれが自分の担当以外のところにも気を配ることにより車両を完成させました。昨年は車検を通過することが出来なかったため、この1年間は走行を重ね改良を行ってきました。

Team-member

チーム代表者・穂積昭光

齋藤拓也、山村憲司、米澤翔太、龍野功幸、佐々木文豊、國弘英二、井上由樹、(FA) 安原鋭幸、(FA) 森 伸介

Participation report 参戦レポート

事前車検の権利が無かったため、大会2日目に車検を受けようと考えていました。2日目の午前にはデザイン審査、コスト審査があったため車検を受けることが出来ず、午後に車検を受けようと思っていたところ台風で午後の車検が中止になってしまい、翌日に持ち越しとなってしまいました。この時はこの台風が私達に味方をするとは誰1人考えていませんでした…。そして3日目の午前に車検を通過することが出来ましたが、その後アクセラレーションを走ったところで午前の部が終わってしまい、スキッドパッドは走行できませんでした。午後はオートクロス。路面は前日の台風の影響でウエット。時間が経つごとに良くなっていく路面状況にいつ出走するかを牽制しあう状況に。そんな中、出走したところ、59秒459のタイム。

その時はまだ無事に走りきってくれたと考えただけでした。その後の他チームの走行を見ていたところ私たちのタイムがかなり良いことが分かってきました。そして夕方。結果が掲示され第3位に入ったことを知り、正直信じられないという心境。ウエットタイヤがしっかり食い、ドライバーが雨でのレース経験があったことなどプラス要因が重なった結果でしたが嬉しかったです。しかしエンデュランスの走行順はオートクロスの順位で決まるため、次の日に向けて準備が急がなくてはならず、喜びに浸っている暇はなく、結局エンデュランスは走行中にブローバイガスのホースが抜けてしまい、オレンジボールが出されてしまいました。喜び、悔しさの詰まった大会でしたがこの大会を通して得たものは大きかったように思います。

Sponsors スポンサーリスト

東鋼管、ウエストレーシングカーズ、NTN、エフ・シー・シー、FCデザイン、小野電機製作所、コンティネンタル・オートモーティブ、ジュニアモーターパーク クイック羽生、ソリッドワークス・ジャパン、東京アールアンドデー、ニコル・マーケティング、日産自動車、日信工業、プロト、本田技研工業、ホンダマイスタークラブ、モリワキエンジニアリング、ミスミ、ユタカ技研、レイズ

チーム名

ウィズフォーミュラレーシングチーム

Wiz Formula Racing Team

～真のリアルフォーミュラマシンを目指して～

Presentation プレゼンテーション



私達が目指した車両は、誰でも安心して楽しく走れるマシンをコンセプトに設計・製作しました。マシンのカテゴリーはカートとSFJの間と位置付けし、対象はカート出身者やサラリーマンが休日にサンデーレーサーとして活動できることを主眼においたものとなっております。ユーザーがつくって喜び、走って喜び、持って（観て）喜べるというマニア心をくすぐる意味も持たせています。製作時は組立仕様書を基にプラモデル感覚でボルトオンで簡単に組み立てることが可能です。このことによりメンテナンスもしやすい構造としました。走行に関しては電磁シフターを用い

簡単・正確・迅速にシフトチェンジを可能とし、ハンドリングとエンジンフィーリングに関しても気持ち良くそして速く走行できるよう意識してセッティングしました。またエンジンを縦置きとしたことにより、真のリアルスポーツとしてのフォーミュラマシンを目指しました。ボディカラーに関してもサーキットに映えるラスタードを採用しています。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 43位

Participation report 参戦レポート

わが校は今年で出場2年目という事で、今年の目標は、昨年達成できなかった車検通過を目標にチーム丸となって取り組んでまいりました。そして大会当日メインフープとフロントフープの高さが不十分など、大きな問題点が指摘されましたが、対策をメンバー全員で話し合い、整備担当のメンバーが中心となり、なんとか車検締め切りまでに問題点を改善し、念願の車検通過を達成する事が出来ました。

そして、次の目標に、「エンデュランスで完走する」という目標を掲げ、マシンのチューニング、プラクティスを何度も繰り返し、エンデュランスでは、何度かスピンしてしまうことがあったものの、無事、規定タイム内にゴールする事が出来ました。

この学生フォーミュラ大会を通して、私はチームキャプテンを務め、力不足な部分もたくさんあったと思いますが、メンバー全員が力を合わせてくれたおかげで目標よりもさらに上を達成する事が出来ました。私は今回の大会で最後になりますが、来年度は、後輩に託して総合でTOP20に入れるよう頑張りたいと思っています。この学生フォーミュラ大会は、今後の人生においても、とても良い経験になると思います。



Profile

チーム紹介・今までの活動

今年は2年目の挑戦ですが、基本マシンコンセプトである「誰でも安心して運転できる」を重視し、動力伝達機構、サスペンション、ステアリング、ブレーキなど基本に忠実に設計、製作しました。目標は各種目でポイントを取得し完走することです。

Team-member

チーム代表者・平野大地

邊見朋生、渡辺恭平、芳賀文也、鈴木広大、斉藤貴耶、矢内寿晃、後藤 壮、高林直樹、高橋 翔、武田 光、佐藤拓弥、松崎翔太、吉田 純、佐藤秀一、(FA) 佐藤伸一、(FA) 橋本英樹、(FA) 村上 勝、(FA) 鈴木友二、(FA) 佐藤弘二、(FA) 梅沢 佳、(FA) 小向 竜

Sponsors スポンサーリスト

前田金属工業、EBKSS、郡山テクノポリス推進機構、ものづくりインキュベーションセンター、三伸製作所、大同工業、ダイヘン溶接メカトロニクス、小向自動車サービス、エビスサーキット、チームオレンジ、TEAM K、K STYLE、松本ガラスサッシセンター、興和鋼管工業、京和商事、バンザイ、橋本機工、ソリッドワークス・ジャパン、NICOLE

第8回大会を終えて

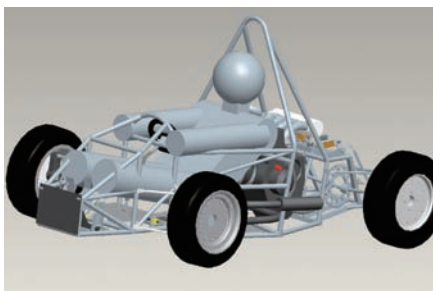
Presentation プレゼンテーション



2010年の車両コンセプトは「安定して曲がる車」でした。大会コースレイアウトはストレートが少なく、ヘアピン、シケイン、スラロームなどタイトなコーナーが多く、コーナリング速度と立ち上がりが必要だと考えました。そこで、低重心化、-30kgの軽量化、低速トルクの向上、タイヤのグリップを活かすサスペンションジオメトリ、車両重量配分47:53を目標に掲げました。

参戦2年目となる2010年度は、1年生3人が加入し11人での活動となりました。そのうち3年、4年生は前年に引き続き、設計・製作を行いました。前年の悪かったところを一番分かってい

るからより完成度の高いマシンを設計することができました。また製作に関しても、新たな工作機械を使えるようになったり、技術の向上など加工技術もレベルアップしました。また一部解析も取り入れるなど新たな試みもしました。完成車両は、車高を下げたことにより低重心化を達成できました。またサスペンション、重量配分は目標達成と言えるものでした。しかし重量に関しては前年比-5kgと目標には達しませんでした。低速トルクについても、動的で戦えるほどの低速トルクはありませんでした。しかし今大会では1回で技術車検を通過でき、前年より完成度の高い車両であることが証明されました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 59位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私たちは2008年にチームを発足し、今年で2回目の大会参戦となりました。今年は1年生3人が加入し、計11人となりました。初参戦だった昨年は車検通過できずに終わりました。今年はその悔しさをバネに活動してきました。

Team-member

チーム代表者・川口隆史

高橋 淳、迫田 一樹、山本佳尚、河之口敦史、齋藤浩一、北原達也、小林 諒、大下勇治、森 基泰、森本充洋、(FA) 金子憲一、(FA) 渡辺 一功、(FA) 杉村延広

Participation report 参戦レポート

前日準備日はピット設営から始まったのですが、テントのパイプが足りないという予想外の事態になり、出鼻をくじかれるスタートとなってしまいました。またこの時点では車両が完成していない状態で、ピットではカウルの取り付けなどの作業をしていました。その後プレゼンテーション審査に参加しました。大会初日はコスト、デザイン審査がありました。今回はパネルを準備し前回よりは進歩したように思いました。その後車検を受ける予定でしたが台風のため受付ができず、他大学の静的審査を見学し勉強しました。2日目は朝から車両の最終チェックを行い、技術車検を受けに行きました。結果は見事一発合格できました。そのまま騒音・ブレーキ審査を受けに行きましたが、どちらも不合格でした。インナーサイレンサ

ーを増やし、ブレーキはエア抜きをして再挑戦しましたがこの日は通過できませんでした。3日目は、出来る限りの対策を行い、午前にはブレーキ審査、午後には騒音審査も合格できました。しかしこの時点でオートクロスまでの競技は終了していて、残すはエンデュランスのみとなっていました。4日目はプラクティス走行をし、エンデュランスに向けて準備していました。そして動的エリアで出走を待っていたのですが、競技時間終了となり残念ながら走ることはできませんでした。

しかし、ここまで来れたことは前回からすると進歩したと言えると思います。これは自分たちの力だけでなくFAの先生方やスポンサーの皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、NTN、日信工業、ケービン、ダイハツ工業、エフ・シー・シー、ソリッドワークス・ジャパン、キノクニエンタープライズ、キタコ、住友鋼管、井田商店、サンスター技研、エイワレーシングサービス、南星、三アイ、小泉製作所、桑原インターナショナル、ウエスト・レーシングカーズ、大阪府立大学工学部生産技術センター、大橋タイヤ産業、外山自動車、山本テクノ、モリ工技、大阪府立大学機械工学科同窓会、個人スポンサーの皆様

第8回大会を終えての課題

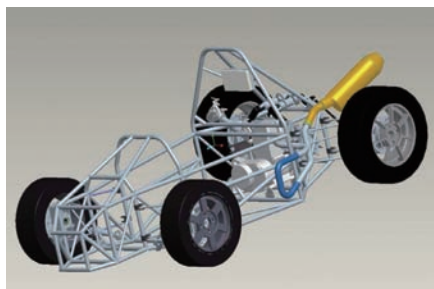
Presentation プレゼンテーション



私達AIT学生フォーミュラ同好会は第8回大会に向けて安定性の向上を図り、誰もが楽しんで乗れるような車両の製作を目標にしました。

安定性の向上を図るために車両の高さを低くしました。実際の車両の高さは1010mmとなり、かなり低くすることができました。さらに、前年度車両は14インチタイヤを採用していましたが、今年度はフロントタイヤを13インチ、リアタイヤを14インチにすることで車両の軽量化とコーナリングでの安定を図りました。カウルについては前年度同様に和紙とポリクロスを材料に用いて製作しました。エンジンは前年度と同じくLT-

R450のエンジンを使用し、駆動もシャフト駆動を採用しました。これは、チェーン駆動よりもフリクションロスを低減でき、パワー不足を補うことが狙いです。排気系についても改善をしました。前年度は騒音テストを通ることができなかったのですが、今年度はマフラーをLT-R450純正に変更することで騒音を抑えることに成功しました。ラジエータも前年度のLT-R450純正からサイズが小さいラジエータを車両の両サイドにつける方式に変えることで、軽量化をしました。今回大会では車両を走らせることができませんでしたが、新たな課題にチーム全員で真剣に取り組んでゆき、次の車両製作に取り組みます。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 61位



Profile

チーム紹介・今までの活動

前年度より学生フォーミュラ参戦プロジェクトとして発足し、AIT Kanabun Racing Teamとして活動を開始しました。今年度で2回目の参加となります。今回では前回では進めなかった動的審査まで進むことを目標に製作を行いました。今年度の車両の特徴の1つとして、前年度同様にシャフト駆動を採用しました。

Team-member

チーム代表者・大野雄太

深瀬雅央、相山貴弘、高柳直人、池田大二郎、彦坂彰将、青木拓人、横沢達哉、伊藤良一、石鍋大地、清水宏紀、河津貴也、杉村幸寿、森川雄基、二上泰輔、山田倫彰、三岡雅尚、水野貴大、浅井基司、植村知幸、侍千瑠(ロベス・ジツシル)、富田昭光、(FA)北川一敬、(FA)谷本隆一

Participation report 参戦レポート

今回は、前回では進めなかった動的審査まで進むことを目標の1つにしてきました。しかし、製作の進行が思うように行かず、シェイクダウン証明を提出できませんでした。

今回は静的審査のコスト審査とプレゼンテーションのみの参加となってしまいましたが、できる限り精一杯取り組みました。1日目にプレゼンテーションがありました。発表では緊張から、かなり早口になってしまいました。さらに、プロジェクトの持込みを忘れてしまうというトラブルも発生しましたが、資料を印刷してあり、それを審査員の方に審査していただき、それをもとに発表しました。2日目のコスト審査では、メンバーがリアルケースシナリオを夜遅くまで考えてくれた甲斐もあり、しっかりと受け答えができ、無事に

乗り切ることができました。プレゼンテーション審査35/71とコスト審査41/61となり、予想よりも高い位置にいたのでチーム全員驚きました。残りの大会期間は、来年度のために他校のマシン見学や動的審査見学などのデータ収集に取り組みました。同じシャフト駆動を採用しているチームの見学では、とても参考になりました。

今年度の活動では前年度の反省を活かしきれていない所が多々見られました。また、タイムスケジュールの管理の甘さや連絡事項が伝わっていないなどの問題が会場で浮き彫りになりました。また、ミーティングがしっかりできていない事や製作作業の分担などができていませんでした。課題は多いですが、今回の活動の反省をしっかりとした上で、来年度の活動につなげていきたいです。

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、NTN、日信工業、住友電装、キャリア技研、岡島パイプ製作所、三五、エイアイテック、ダンロップファルケンタイヤ、THK、ソリッドワークス・ジャパン、渡辺工業、ミスミ、アクセル、富士精密、鍋屋バイテック、アルテクノ、アクティブ、野口商会

チーム名

O.I.T レーシングチーム レガリア

O.I.T Racing Team Regalia

チームレガリア

Presentation プレゼンテーション



開発コンセプトは高出力、高剛性、高耐久性です。低回転から高回転までの吹き上がりの良いパワートレイン、高剛性フレーム、ドライバーに安心感を与え、メーカーとしてのブランドの強化を目指しました。ホイールベース1700mm、トレッド1200mm、全高1183.7mm、全幅1388.2mm、全長2852mmとしました。販売戦略は当社のショップを持たず、レース業界への参入、サービスの充実としました。収入見込みは約4億2500万円、ターゲット層は40～59歳としました。

モータースポーツを始めることは、敷居が高いと思われがちです。したがって、新規ユーザーにと

って気軽に、安心してモータースポーツを始められる環境を確保する必要があり、そのため、初心者のためのサービスを用意しました。I.レーシングフェア等の準備物一式を低価格で販売。II.年に2回レーシング講習会を開催。III.車両保管場所をサーキットに当社から委託。IV.アフターサービスの充実で、安心してレーシングライフを送っていただく。アフターサービスは、年に数回当社ユーザー様を対象とした車両の点検・検査を実施し、車両をグレードアップさせたいとお考えであれば、当社が全面バックアップし、当社製品は中古査定をして条件付きで下取りを行います。アフターサービスでの収入は3年後に1000万円を試算しました。



Participation report 参戦レポート

我々チームレガリアは2010年度の目標として掲げた「全走行競技に完走し、全国で30位以内」を残念ながら本年度では達成することができませんでした。昨年度の反省として、ほとんどの失敗は作業の遅れからなるものだと判断し、新体制では作業の遅れがないようにするために完璧なスケジュールに沿って活動していこうということを決めました。しかし、本年度も作業が遅れました。マシンを走行させる時間がなく動的競技は散々な結果となってしまいました。この問題を解決するには、まず少人数チームであるためチーム・体制の強化が必要です。余裕を持って作業できるような計画を誰がいつまでどのようにして行うのかということまで考えたいと立てようとしています。それに、やりたいことすべてを計画に詰

め込むのではなく、人数や製作時間の制約のことを考え実現できる計画を立てるようにしたいです。マシンは走らせる時間が多ほど速くしてくれるので、なるべく早い時期に完成を目指したいです。

本大会では走行中に前輪部のナックルが壊れ、フレームの一部が歪みました。それに、運転中はステアリングの操作やクラッチの操作に難があったそうです。これらの問題の原因を解明し、来年度マシンの製作に活かしていきたいです。

静的競技では25位と良い成績を得ることができました。次はさらなる上を目指して努力していきたいです。

Result 今回の総合結果・部門賞

総合 48位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私たちチームレガリアは、来期で創部4年目になり4回生1人、3回生2人、2回生4人、1回生5人の2、1回生中心のチームです。毎年順位を上げており、来期も順位を上げられるよう活動に励んでいます。

Team-member

チーム代表者・廣瀬健詞

山瀬正輝、植西宣博、柏原 諒、橋本知也、谷 泰広、上田尚弘、青谷郁弥、井上 僚、瀧川翔太、上野 徹、井川弘大、(FA) 小川直樹

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、ミスミ、ソリッドワークス・ジャパン、NTN、レイズ、ブリヂストン、ニッシンブレーキ、BRBベリアルサービス、POS、FCデザイン、AFAM・ジャパン、ニコル・マーケティング、FCデザイン、日信工業

サンデードライバーでも扱いやすいマシン

Presentation プレゼンテーション



車両コンセプト…「サンデードライバーでも扱いやすいマシン」

私たちが考えるサンデードライバーでも扱いやすいマシンとは、初めてスポーツ走行をする人でも恐怖感を感じることなく、しかし、きびきびと運転することができるマシンだと考えました。

それは同時に、ユーザーに“楽しさ”を提案する物であると考えます。スポーツ走行はサンデードライバーやスポーツ走行を愛するドライバーすべてに共通する重要な要素であると考えました。また、車両のメンテナンスのしやすさは、マシンを愛するために重要なポイントと考えます。これ

らの考えを元に私達は車両の設計時に、以下の点を重視し車両製作を行いました。

主な特徴

- ・フロントフープを下げ前方の視認性向上
- ・フロント&リアサスペンションのプッシュロッド化
- ・ロングホイールベース&ワイドトレッド化
- ・キャビンを広くし、圧迫感を感じさせないレイアウト



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 67位



Profile

チーム紹介・今までの活動

今年で創部6年目、5回目の参加になります。大学内では車両を製作できない為、スポンサー先の製作所で、操業していない時間帯で製作をしてきました。しかし、今年は部員が少ないため、車両製作や書類作成に手間取るなど、スケジュール管理が難しい中、活動をしています。

Team-member

チーム代表者・秋田憲昭

小田島互之介、鷹沢 翼、二川祐希、村井 貴、村井勇介、吉田直也、(FA) 大塚幸男

Participation report 参戦レポート

私達Formula Design Clubは3年生2名、2年生5名で第8回全日本 学生フォーミュラ大会に参加しました。私たちのチームは今大会で5回目の大会出場でした。大会初日、プレゼンテーション審査から始まりました。パソコンを用いてプレゼンテーションをしようとする、電源が落ちてしまうというトラブルに見舞われ、急ぎょ口頭でのプレゼンテーションとなってしまう、伝えたいことがあまり伝えられなく残念な結果になりました。翌日のデザイン審査は説明する内容がきちんととまっていない状態で臨んだため、数多く指摘される結果となりました。また、車検では25カ所もの不具合点を指摘され、大会中に修復し再車検を受けることが不可能という判断をし、リタイヤとなりました。それから、チームメンバ

ーは今後のマシンや資料作りの参考にするため、各大学のマシンの調査や、審査の見学など参考になる箇所などを勉強して回りました。

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、ネットトヨタ南国、モーターランドたちかわ、西山製作所、浜田製作所、SBS高知、坂本鉄工所、Kochi Classic and Sports car Club、タイヤガーデンM HOUSE、Ke~FACTORY、K-DESIGN、NTN、浜田モーターサイクル、ニッソーサービス、JY-CLUB、日産レンタカー、光伸産業、吉川水産、双木商会

Sojo Project F
～全競技出場を目指して～

Presentation プレゼンテーション

マシン名▶▶ SPF002

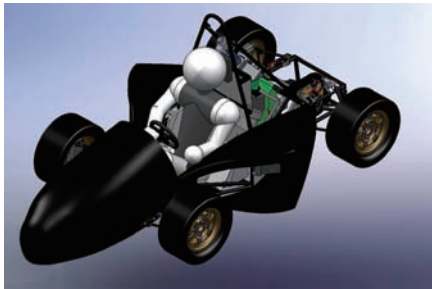


私達はターゲットユーザーをフォーミュラカー初体験者とし、初体験者でも楽に乗れる車両ということから、車両コンセプトは「楽」にしました。この「楽」とは、車両の運転が楽にできる車両、車両のセッティング変更が楽にできる車両という2つの意味からきています。私達はこの「楽」を実現するために、車両に多彩な調整機構を設けました。

車両の運転を楽にするためにも、ドライバーに合わせたドライビングポジションに変更できるようにペダル調整機構を設けました。また、快適で楽にドライビングが行えるように、旋回性能向上

を目的としたデファレンシャルギアの導入、バネ下の軽量化を行いました。

楽に車両セッティングできるように今回は、基準となる設計値通り作ることに着目し製作しました。これにより、設計値と製作値の誤差を±1mm以内に収めることに成功しました。この基準より自分の好み合わせた車両のセッティングを行うために、フレーム側のAアーム取付用ブラケットにシム板をはさむ調整機構を設けることでこれを実現しました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 58位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私たちSojo Project Fは2008年度第6回 全日本学生フォーミュラ大会への参戦を目指し、2006年10月に有志を募り発足しました。大会参戦は2010年大会で2回目という歴史も経験も浅いチームです。

Team-member

チーム代表者・徳永規克

倉ヶ崎 歩、貞包龍一、高崎 馨、中尾亮太、黒田陽一郎、津田圭佑、古田清依子、水本大貴、宮島雅典、森山聡仁、吉井翔哉、小嶺太成、藤本英揮、(FA) 齊藤弘順、(FA) 内田浩二

Participation report 参戦レポート

当チームは今大会で2回目の出場となりましたが、大会出発まで車両トラブルが続々と発生しました。特に電装や2次エアーの修理、騒音の対策に追われたためドライバーの練習不足や静的審査の準備が十分に至らないまま大会に臨むことになりました。

大会2日目では、車検の前に静的競技であるプレゼンテーション・コスト・デザイン審査を受けました。当チームは昨大会の書類選考に通過できなかったため、静的審査で質疑応答することが初めてであったこともあり、審査にでるメンバーは四苦八苦しました。しかしながら、今大会の審査で誤認している箇所や評価される対象がわかり、来年度以降の審査に活かすべき課題が見つかりました。

静的審査後は技術車検を受け、修正箇所が3点あり、直ちに修正してその日のうちに技術車検を通過しました。しかし動的車検の騒音で不合格となり、大会4日目に何とか通過することができ、最終日にエンデュランス走行に出場する可能性がありました。残念ながら規定上出場することができず悔しさが残りました。この悔しさをバネに来年度は車検を一発で合格し、動的競技で得点を取るようにルールに沿った完成度の高い車両をチーム一丸となって製作していきます。

最後になりますが、活動を支えていただいたスポンサー様、大会スタッフの皆様、FAの先生方、OBの皆様感謝いたします。ありがとうございました。

Sponsors スポンサーリスト

本田技研工業、ブリヂストン、レイズ、ソリッドワークス・ジャパン、協和工業、VSN、エフ・シー・シー、NTN

チーム名

芝浦工業大学 Formula Racing

Shibaura Institute of Technology Formula Racing

チーム再始動1年目の挑戦 ～感じた手応えと見えた課題～

Presentation プレゼンテーション

マシン名▶▶ S007



我々は、今まで日本大会のみならず、イギリス・アメリカの大会に積極的に参加して経験を積んできました。しかしながら、昨年度はアメリカ・日本の両大会への出場が出来ませんでした。その後、チームの存続もかけて長い間話し合いを行った結果、アメリカ・日本の両大会にて全種目完走を目標に設定し活動することに決定。また、主力世代も現3年生に移行され心機一転チームの再始動となりました。今回出場した第7期開発車両『S007』は、昨年製作をした第6期開発車両『S006』に導入した新技術に信頼性を加えるように設計製作を行ってきました。今回の車両は5

月にアメリカに輸送することを踏まえ、早期シェイクダウンが必要とされましたが、無事に2月に出来、長い時間をかけて走り込みを行ってきました。また、ドライバーの大半は大会出場経験がないのでドライバーの練習にも同時に時間をかけてきました。その結果、シェイクダウン後は走り込みにて生じた様々なトラブルの改善を繰り返し、信頼性を向上させることが出来ました。そして、6月にはFormula SAE Californiaに出場し全種目完走を果たし13位という成績を収めることが出来ました。帰国後もマシンのアップデートとアメリカで生じたトラブルを改善しさらにパワーアップしたマシンとなりました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 35位



Profile

チーム紹介・今までの活動

我々、芝浦工業大学Formula Racingは第2回大会より出場してきましたが、昨年度大会出場ができず、今年度はアメリカ・日本の両大会の全種目完走を目標に、早期シェイクダウンを達成し徹底的に走り込み、信頼性を向上。また予備パーツを準備し大会時のトラブル対応を施すなどを目標に活動してきました。

Team-member

チーム代表者・早川佳佑

秋葉康司、岩田 覚、齋藤総司、中島 駿、前川彰秀、山本安里、岸田康隆、齋藤大志、坂本 圭、関口翔人、林 寛之、矢内崇文、大石琢馬、川元かほる、西山 宙、萩原 翔、山崎義弘、(FA) 岡村 宏

Participation report 参戦レポート

Formula SAE Californiaでの全種目完走での13位という結果を受け、今回の全日本学生フォーミュラ大会でのエンデュランスリタイアでの総合35位という結果より目標を達成できず、悔しい思いとともに協力をしていただいた方々への申し訳ない思いでいっぱいです。今年度は事前車検の対象外という事に加え、静的審査が2日目の10時頃より予定されていたため、2日目の朝一番で車検を通過できるように初日から準備とスケジュールの打ち合わせを行いました。結果的に2日目の午前中にブレーキ試験まで通過する事が出来、台風による影響を最小限に押さえることが出来ました。3日目の動的競技では、それぞれの競技でタイムを残すことを最優先に出走し、全競技で4回ずつアタックすることが出来ました。しか

しながら、ドライバーの練習不足や慣れないレイコンディションが影響して、思っていたほどタイムが伸びず得点を稼ぐことが出来ませんでした。4日目のエンデュランスではバッテリーのトラブルにて完走することが出来ず、今季の日本大会の幕が閉じました。今回の大会では日本大会を経験したことがないメンバーが中心であったため、特に静的審査での準備不足が否めない結果となりました。アメリカとは違う日本大会特有の審査にて注視される点など今大会で得た経験を踏まえ来年度は必ず今回以上の結果を収めることが出来るよう、メンバー一同新たな決意を抱えております。

Sponsors スポンサーリスト

アルケー・エキセル、秋山製作所、アルファ、アローレーシングサービス、井頭モーターパーク、伊藤忠テクノソリューションズ、牛久製作所、ウメオカ、エス・ビー・エアー、エッチ・ケー・エス、HPI、NTN、エヌテック、エムエスシーソフトウェア、エム技研工業、遠藤木型、大屋技術伝承塾、押坂工業、小原歯車工業、木村バルサ、キャロッセ、協永産業、協和工業、クイック羽生、黒坂鍍金工業所、ケーアール工業、ケービン、高遠電機、小林機工、小林技工、埼玉車体、サイデン、サイバネットシステム、三晃製作所、ジーエーティー、ショーワ、末吉工業、住友電装、ソフトウェアレイドル、タイヤ館T5岩槻、大陽ステンレススプリング、大橋精機、津留崎製作所、ツインリンクもてぎ、TGテクニカ、東京チタニウム、東京R&D、東洋測器、特殊技研、所沢軽合金、中島工機、UDトラックス、日新鋼管、日信工業、日東精工、日本軽金属、日本発条、ハイレックスコーポレーション、ファクトリーファイアロボレーション、フューチャーテクノロジー、フリヂストン、プリテック、Pronto配線コム、ホッカイエムアイシー、堀場製作所、本田技研工業、増田伸鉄所、ミナロ、ミス、ミツバ、三菱ふそトラック・バス、ミナロ、ミノルインタ、ナショナル、三村製作所、柳下技研、山下ゴム、山田製作所、ユタカ技研、横河工事、ライコランド埼玉店、リョービ、レイズ、和光、和光ケミカル、ワークスベル

活動を振り返って

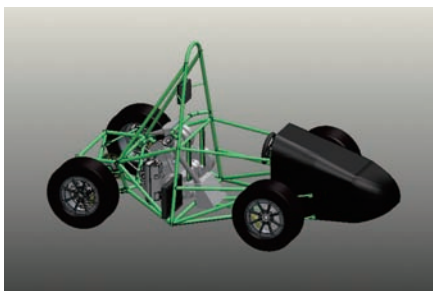
Presentation プレゼンテーション



プレゼンテーションでは、他大学と自分たちの製作段階での設備の違いを“ウリ”にしました。資料作成や発表の仕方など、色々と考えるのは大変だったけれど楽しんで出来ました。準備が遅かったため、練習期間が短くかなり焦りました。言葉が出ない…時間がオーバーしてしまう…早口になってしまう…など、内容のほかにも発表の態度まで気にしなければいけないので大変でした。本番前日は、ホテルの部屋の壁を利用し、プロジェクターを使って朝まで資料の見直し、発表の練習。直前まで慌ただしく動いていたように思います。最初とはとにかく形になって発表できればよいと思

っていたけど、結果が出ると「もっと準備を早くしておけばよかったな…」と思い、少し悔しい思いも残っています。

今年は準備も良くできていなくて他大学にも迷惑をかけてしまう場面もあり、来年は、今年の反省をきちんと活かし上位を狙いたいです。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 27位

Participation report 参戦レポート

今大会は、多くの収穫がありました。2008年にも学校としては参戦経験があるものの、このチームになってからは初参戦でした。連日カート場で練習走行を重ね、自分たちの中でも少しずつ自信を得ていたものの、何が起こるか分からないので不安もありました。また、今年は台風の接近により雨も降ったりと天気に左右されタイヤの選択や走行時間の判断、会場の移動など慌ただしい場面が多かったです。しかし、割とメンバー全員が冷静に対応できスムーズに動くことが出来たので、毎日の活動の中で自分たちは成長出来ていたのだと思っています。

動的審査のスキッドパッドやオートクロスは雨天により、ウェット状態に慣れていないドライバーは苦しみました。また、エンデュランスでは、

第1ドライバーでは問題なくタイムを出していたが、ドライバー交代後マシンにトラブルが発生し、完走することは出来たものの、満足できるタイムを出すことができず悔しい思いをしました。次年度は、シェークダウンを早期に行い、ドライバーの育成だけでなく、さらに完成度の高いマシンを製作し上位を目指していきたいです。



Profile

チーム紹介・今までの活動

2009年からFFN.I.T.として活動してきました。全てが初めてで、手探り状態でした。しかし、多くの方から支えられ、この活動を続けていくことが出来ました。

Team-member

チーム代表者・小野寺星子

青木浩明、佐藤竜也、菅原佑貴、長谷川拓也、田口直樹、関口正敬、木原駿介、瀧和広、日下紘礼、岡田全史、三上正悟、石田一貴、福田翔平、竹原光洋、落合諒、(FA) 岡崎昭仁

Sponsors スポンサーリスト

ヤマハ発動機、d SPACE JAPAN、O9RACING、住友ゴム工業、SEKI、ファーストモルディング、ウエストレーシングカーズ、NTN、ソリッドワークス・ジャパン、クワハラバイクワークスジャパン、プラスミュー、ジュニアモーターパーク、クイック羽生、日信工業、和光ケミカル、IRS、富士精密、阿部技研、エフ・シー・シー、レーシングサービスワタナベ、栄鋼管、FRP-ZONE、協和工業、クリヤマ、協永産業、マイケイジャパン、キノニエンタープライズ、忍機工、関口塗装、高田歯科、萩原建設、新素材研究室、マイクロ加工研究室、塑性加工研究室、CAD応用研究室、機械工作センター、スチューデントラボ、自動車工学研究室、工房本部、教育研究推進室、機械工学科

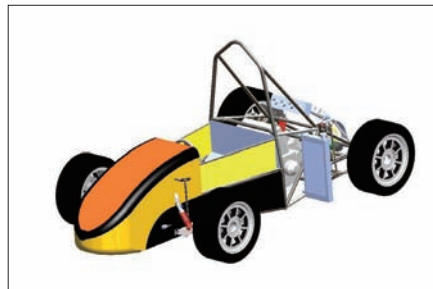
2年間の集大成!!

Presentation プレゼンテーション



2008年、第6回大会を終えると残ったメンバーは2人。数年間、慢性的な人数不足に悩まされていた私達は第7回大会には出場せず、『2カ年計画』で第8回大会に出場することを決断。1年目は「チームの土台作り」を目標にメンバー集めや活動場所の確保等を行い、現在メンバーは15人となり他チームにも見劣りしない程になりました。そして2年目となる今年、第8回大会への出場において「全種目完遂・完走」を目標に活動してきました。人数が増えたことにより新たな困難にぶつかりながらも、人数を活かし静的審査にも力を入れました。今大会車両のコンセプトは『ド

ライバビリティの向上～基本性能の追求～です。これまでの基本性能を向上させるという考えはそのままだに、さらに運転のしやすさ、扱いやすさ、分かりやすい挙動といった「ドライバビリティ」を向上させ、エンデュランス等での順位が向上するよう車両をつくり上げました。ドライバビリティを向上させるため、パドルシフトの採用、操舵力の低減、ドライビングポジションの最適化を行い、またエンジン性能解析ソフトを用いて吸排気のパフォーマンス向上、サスペンションではアンチスクワットジオメトリを採用し、スタビリティ及びトラクションを向上させることで、基本性能の高い車両を作り上げることができました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 51位



Profile

チーム紹介・今までの活動

2004年にチームを発足、2006年の第4回大会から出場しています。ここ数年間の慢性的な人数不足により昨年は大会に出場せず、2カ年計画で今大会に臨みました。現在は大幅に人数が増え、チーム一丸となって上位を目指し活動しています。

Team-member

チーム代表者・西村真悟

波多野勇介、林 真吾、中本紗弥、石田修平、谷口幸大、中島 翔、三橋知明、村井章嵩、岩井一弘、小澤隆児、加藤 悠、田中宏基、南 智広、吉川達哉、(FA) 川合忠雄

Participation report 参戦レポート

第8回大会はプレゼンテーションからスタートしました。今年は文系メンバーがプレゼンテーションを担当しました。1日目は翌日のことを考えて、早々にホテルに向かいました。2日目はコスト審査、デザイン審査でした。コスト審査では新形式のレポートに苦労しましたが、審査員の方から正確性についての評価をいただき、一安心しました。デザイン審査では、メンバーがプレゼンテーションをしましたが、自分の考えを相手に伝えるのは、難しいことだと改めて感じました。その後は車検を早く受けられるよう作業をしていたのですが、台風の影響もあり、1度目の車検を受けられたのは夕方でした。3日目は、車検で指摘された箇所を改善することから始まりましたが、動的競技が既に始まっていたので、焦りながらの作

業となりました。午後には2度目の車検を受けることが出来、無事に、合格となりました。その後、重量測定やチルト試験を受けたところで、一度、エンジンをかけてみると、エンジンがかからず、その原因もよく分からないまま4日目となりました。車検は4日目で終了するので、一刻も早く、動的競技に参加出来るよう作業を続けました。夕方にはエンジンがかかり、何とかいけるかと思ったのですが、結局は再度の不調でタイムアップとなり、一度も走ることが出来ないまま、大会を終えました。メンバー一同、非常に悔しく感じています。しかし、この悔しさをばねに、来年は結果を残したいと思います。最後に、私たちの活動を支えてくださったスポンサーや関係者の皆様、先生に感謝の言葉を捧げたいと思います。

Sponsors スポンサーリスト

アールエスティチ、アルミネ、ABC商会、エフ・シー・シー、エポック、大阪試作室、協和工業、川崎重工業、キーパー、キタコ、キノクニエンタープライズ、キャストム、ケービン、サンスター技研、シーディー・アダプロ・ジャパン、昭和電工、スエカゲツール、住友電装、ソフトウェアクレイドル、ソリッドワークス・ジャパン、タイガー製作所、大東ラジエーター工業所、大同工業、ダイハツ工業、ダイヘン、タンガロイ、東京測器研究所、徳島カム、トヨタレンタリース大阪、中道工作所、日信工業、日東紡績、日本ビート工業、野口商会、浜田、ハヤシレーシング、富士精密、プリヂェストン、プロト、ポッシュ、三星製作所、レノボ・ジャパン、和光ケミカル、co-allition、KONG's、NTN、SPEED SHOP JIRO、大阪市立大学学友会

今年車両紹介と 来年の設計課題について

Presentation プレゼンテーション



初年度の車両は、車重、重心高、ヨーモーメントの値を他大学のデータを元に、高いレベルで設定して設計しました。設計に丸一年、試行錯誤の末、目標値に近い値（車重5kg増、重心高達成、ヨーモーメント達成）にすることが出来ました。また車両の特徴は自作のサスペンションやステアリングを搭載しているところです。サスペンションは、学生フォーミュラの車両では珍しいかもしれませんが、トーションバーサスペンションを採用しました。車両性能、重量や生産コストの面で大きな効果もあり、革新性も期待できると考えました。また、ステアリングは軽量、低コストな自作

ステアリングです。重量や製作コストもさることながら、軽すぎず重すぎない扱いやすいハンドリングも実現しています。今後の車両は、基本性能の高い初年度の車両をベースに、確実に車検に通る安全な車両作り、フレーム剛性の最適化、タイヤの性能を十分発揮できるサスペンションの設計、扱いやすいエンジン制御プログラムの開発などを行い、来年の大会で上位入賞を狙っております。

車の基礎知識すら知らなかったメンバーがここまでやったのもスポンサー様、学校の先生のご協力があったこそだと思っております。今後も頑張って学習して参りますのでご指導、ご声援よろしくお願い致します。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 57位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私達は、少数精鋭のチームで現在7人のメンバーで活動しています。マネージメント、設計班、電装班、ドライバー、渉外の担当があり、それぞれに1~2名ほどしかいないためどのように活動すれば最小限の人数で目標が達成できるか意識して活動しています。

Team-member

チーム代表者・中野 友

小林大泰、西山聖也、前田真嘉、水谷武義、山本敬洋、池内優人、(FA) 越智秋雄、(FA) 中根久典

Participation report 参戦レポート

初日、車検に向けて車両確認、道具の準備をしました。

2日目、朝一番で車検をしていただきました。しかし、燃料ホースの止め方、ヘッドレストの材質、マフラーの断熱不足、フロントボディワークの形状など11点が引っ掛かり不通過。同日、車検通過のための作業をしながらプレゼンテーション、コスト、デザインの発表を行いました。また、台風により作業が中止となったため、車両を持ち出し、近くのガソリンスタンドの敷地をお借りして徹夜で車検対応の作業を行いました。

3日目、朝一番で再車検を受け合格。その後の車検を合格してアクセラレーションを受けました。ファーストドライバーは平均タイムで完走。セカンドドライバーが出走したとたん左のドライブシ

ャフトが折れてリタイヤ。スキッドパッドを受けることが出来ませんでした。静岡理科大学さんの工作センターをお借りしてドライブシャフトを修復後、オートクロスを受けましたがブレーキホースの付け根が折れてセカンドドライバーでリタイヤ。その後、ブレーキホースを取り換えました。

最終日の4日目、3番手でエンデュランスに出走しました。車両の調子は良くタイムも安定していましたが最終ラップにブレーキのオーバートラベルスイッチが作動してしまいエンジンが停止。復帰出来ず、残り3分の2周のところで無念のリタイヤ。1000km近い本番練習をしていたにも関わらずトラブルを起こしてしまい本番での無力さ、ものづくりの難しさを感じました。チームのノウハウとして来年に活かしていきます。

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、FCデザイン、ブリヂストン、ソリッドワークス・ジャパン、オザキ計測、スポーツランドタマダ

チーム名

麻生レーシング

ASO Racing

初参加のチャレンジを終えて

Presentation プレゼンテーション

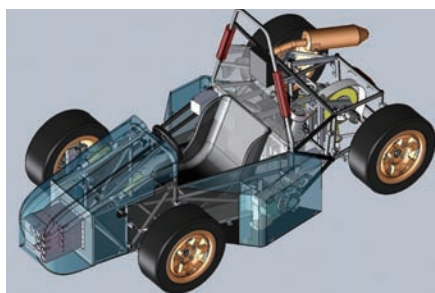
マシン名▶▶ AR-01



私たちは、「TAKE ACTION」というチームコンセプトのもと日々の活動を行っています。このチームコンセプトは、「チームの1人1人が考え行動し、決して妥協せず目標に向かって行動する」というものです。この意思を大切に、「素直な車（走る・曲がる・止まる）」というカーコンセプトを掲げ、4年制大学に負けない安全な車づくりを目標にして今大会に挑みました。

今回初めて私たちが製作に挑んだ車両は、コンセプトを満たすシンプルな機構・構造になっています。そのことが一番反映されているのがデフを使用しないという事でした。初めての設計・製作

ということからシンプルで簡単な構造を採用することで部品点数を抑え、コスト削減・生産性の向上に努めました。エンジンは、学生フォーミュラのコースはコーナーが多い、またなるべく車両を軽くしたいという2つの観点より低速からトルクのある単気筒エンジンを採用しました。またこの車両を多くの方に乗っていただきたいという想いから、ドライバースペースは背の高いドライバーでも無理なく運転できるスペースを確保し、快適性を図りました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 66位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私達ASO Racingは、今大会初参加のチームです。チームメンバー8名と少ない人数ながら、初出場を目指し毎日「ものづくり」に励んできました。この「ものづくり」の経験を次の大会に、そして今後の人生に活かしていきたいと思っています。

Team-member

チーム代表者・大江雄一

井 穂高、鎌崎泰輔、柴田優樹、鶴田都大、天野裕太、端村 崇、都地賢太、(FA) 稲吉貴博、(FA) 永江貴史

Participation report 参戦レポート

初参戦を果たした今大会では、私たちにとって2つの大きな目標を掲げて臨んでいました。1つ目の目標は、「完成した車両を持ち込んで初参戦を果たすこと」でした。初参戦を目指す私たちにとって車両の完成は、大会に向けて出発する前日までギリギリの状態でした。何日も徹夜を続けた日もあり、そういった状況をチームメンバー全員と乗り越えることができたのは、私たちにとって良い経験になりました。2つ目の目標は、「大会を完走で終えること」でした。残念ながらこの目標に関しては達成することができず、大変悔しい思いをすることになりました。動的審査を受ける前に車検に合格しなければなりません、その車検に合格することができずプレーキテスト不通過で大会を終えることとなりました。今回、初参戦

を終えてこれまでのチーム活動を振り返ってみると、多くの良い点・反省すべき点がありました。良い点でいえば、チームで1つの目標に向かって一丸となり取り組むことや決して諦めないこと。反省すべき点でいえば、計画性の無さから日程管理をきちっとできなかったことや自動車に関する知識の薄さなど。また大会を通して、この学生フォーミュラという活動が決して簡単なものではないこと、将来の自分たちにとって大きな糧になる活動だということを感じました。

次の大会では今大会で学んだ経験・知識を絶対活かしたいと思います。また、自分たちが多くの方々に支えられていることで「今の自分たち」があるということ、忘れずに日々を過ごしていきたいです。

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、ブリヂストン、南海部品、前田金属工業、レイズ、ソリッドワークス・ジャパン、トヨタ自動車九州、Dynojet Kyusyu west、西井塗料産業、日研樹脂化工、水上製作所、麻生工科自動車大学校

Bavaria Racing Team

Presentation プレゼンテーション



four Formula Student Events in Europe and especially at the 8th Formula Student Event JSAE in Japan.

- "First Test Drive Monza" Monza (Italy)
- FSG Hockenheim (Germany)
- FSA Melk (Austria)
- FSH Győr (Hungary)
- JSAE Shizuoka (Japan)

munichMotorsport was founded in 2005 and will start the season 2010 with nearly 50 members. The team consists of students only, which attend different faculties like automotive engineering, mechanical engineering, electrical engineering, business economics and many more. Our aim this year was to design a Formula Student race car to represent our team, our university and our sponsors in an adequate way. Therefore we decided to make a further development of our 2009 car. Another aim was to participate at



Result 今回の総合結果・部門賞

総合	38位
デザイン賞	3位
CAE特別賞	2位
ルーキー賞	2位



Profile

チーム紹介・今までの活動

We come from Bavaria, that's near Germany, (Oktoberfest, you know? ;-). Our activities so far, participation at the official formula student events in "First Test Drive Monza" (Italy), FSG Hockenheim (Germany), FSA Melk (Austria) and FSH Győr (Hungary) and JSAE Shizuoka (Japan)

Team-member

チーム代表者・Rainer Metzger

Markus Ortenburger, Miriam Kraft, Andreas Schindler, Arno Fuchsberger, Gregor Mühl, Michael Menzinger, Sebastian Tadday, Stefan Pagenberg, Christoph Knollmüller, Mario Lutz, Michael Schaffarczyk, Tasja Berghaus, Florian Fehr, Eva Heim, Christian Heyne, Elmar Stegmayer, Andreas Fischer, (FA) Jörg Grabner

Participation report 参戦レポート

The JSAE Event started with unpacking our two boxes and preparing the car for scrutineering which was passed without big problems. The static events were mastered with reaching the design finals! At the dynamic events we sadly had bad luck with our car. The acceleration and skid pad event were attended with a slipping clutch (40% engine output) and aborted after one attempt each. To cut one's losses we decided to better fix the car for the autocross, but the car was nearly not drivable. With the help of the Shizuoka Institute we were able to fix the problems over night. At the beginning of the endurance everything works fine and after five

laps we had the best lap time overall. "Fastest car in Japan this year!". After the driver change the problems with the slipping clutch started again. In the last lap, 200m before line the car broke down and wasn't able to be restarted. DNF! At the award ceremony we were glad to win three awards! Finally we want to thank the organizers for this very nice event. We are proud of participating as first European team at the JSAE and would like to come again next year. If you are interested in supporting our team or wants to help us making the next participation possible, please write to info@munichmotorsport.de.

Sponsors スポンサーリスト

Hagl, SimPack, Sarp Feinmechanik, ANSYS, Altair, C-Matrixx Carbontechnik, Helmut Ernst, Formula GT, Open Mind, National Instruments, Allianz, Saatigroup, Schäffler Gruppe, Bertrandt, Brunel, Alexander Obermeier, Bosch, Kraiburg, Henkel, RS-Haslauer, Posterfuchs, Looms, IAV, Denso, Keil, Ludwig Meister, Airtech, EOS, Würth, Lipli, Lauterbach, Red Bull, PCB-Pool, EDAG

チーム名

CarreraZ Racing
CarreraZ Racing

We drive for Thailand

Presentation プレゼンテーション



Thai-Nichi Institute of Technology is recognized for having one of the best Automotive engineering programs. Members of the CarreraZ team combine this excellent theoretical background with strong hands-on skills to create a well engineered race car each year. By utilizing sound base principals and state of the art analysis tools, the team produces outstanding and innovative designs year after year. Our team is comprised of automotive engineering students as well as other disciplines from technology to accounting.

The Formula SAE Competitions are intended to test our designs and our knowledge about the various aspects of vehicle design and manufacture. Each year our car is put through rigorous evaluations during the dynamic events. These events test the drivability, reliability and overall performance of the car. We also present our car to the judges for their critiques. We then work to learn from the criticisms and improve our design strategy for future years.



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 22位
ルーキー賞 1位



Profile

チーム紹介・今までの活動

To enable students to learn about the design, manufacture and analysis of vehicles while creating a competitive car that is innovative and unique, we work together to find creative solutions to the problems that may arise throughout the year.

Team-member

チーム代表者・Nitipon Chaiyawong (CP)

Nattapan Suwanwijit, Ronnachai Sutthisung, Chusak Uthayanwuthikul, Paran Chuvichit, Pongthep Kulpawiroj, Shogun Suphannamok, Poramint Tungvoratum, Phadungkiat Phewoon, Vivit Janvanichyanon, Adisorn Amtip, Kaiyasit Termsirprasert, Chinnawat Chutimachalothorn, Nunpipat Rotsawake, Sajatam Sae-Ju, Pakawat A runno, Chayawee Limchaikit, Supattra Chunplee, Techit Techametakul, Suratee Choeychiw, Pakavat Panuparb, Ashita Maneepech, Sittichai Chaisittisak, (FA) Paskorn Phuenopart, (FA) Don Kaewdook

Participation report 参戦レポート

First Place Rookie awards
22th Place Overall Results
in 2010 the 8 th Student Formula SAE Competition of JAPAN
Sep 7 (Tue.) to 11 (Sat.), 2010
ECOPA (Ogasayama Sports Park;Shizuoka-ken)

Thank for our team members, faculty advisors, our sponsors, Society of Automotive Engineers Thailand (TSAE), Society of Automotive Engineers of Japan (JSAE), all official committees. Thank for help from any teams.

"Arigato Gosaimashita"

"ありがとうございました"

Sponsors スポンサーリスト

Summit Auto Body, Toyota Racing Development, Hino, Enkei, Honda, STM, Aisin-AI, Shark Helmets, NSK, MTM Gear, Nitto Header Turbo, JN Transos, Wonder World Park, Pacific Pipe

～初挑戦、初参加、初体験～ 衝撃のFRフォーミュラ誕生!

Presentation プレゼンテーション

マシン名▶▶ AGF-01/10



AGRCのデビューマシン“AGF-01/10: CARROT”は「珍しい・美しい・シンプル」コンセプトの元、ホビー向けレーシングカーとして所有する喜びに直接訴える、存在の魅力・かっこよさを追及しました。駆動には、F-*SAE*史上初であり現代フォーミュラでは見られない、FR（フロントエンジン・リアドライブ）方式を採用しました。これによってドライバーが後方に着座するスタイルを、より強調し独自の魅力を表現したボディカウルは、大量のイメージスケッチとクレイモデルによる慎重な検討により、他に類のない、魅力的なデザインとなりました。また空力デバ

ス及び演出として前後にウイングを設定しました。エンジンには、デザイン重視のタイトなフレームを実現するため、小型軽量なYAMAHA製450cc単気筒ユニットを搭載しました。この動力伝達のため、バギー用ユニバーサルジョイント2基で接続するプロペラシャフト、ジュラルミン製デフボックス、そして等長ドライブシャフトを実現する中間シャフトで構成される駆動系を設計し、確実な伝達を実現しました。電装系には、エンジン廃熱と大気温度差から発電するペルチェ素子を搭載し、電装にエネルギー回生するデバイスを搭載。今回はリアカウルに搭載したイルミネーション電源として使用しています。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 64位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私達は09年3月に発足した青山学院大学発、学生フォーミュラプロジェクトチームです。第8回大会での記念すべきデビューに向けて、独自の挑戦と夢を前面に押し出したコンセプトの、斬新なデビューマシン“AGF-01/10”を完成させ、最初の一步を大会に刻む事ができました。

Team-member

チーム代表者・加藤祐樹

高木 大、細田英明、針生博基、一筆義友、芝崎賢作、小島玲央、和田 星、藤田貴大、甲賀圭祐、鈴木優一、富田崇之、(FA) 林 光一

Participation report 参戦レポート

デビュー戦となる今大会、処女作にも関わらず斬新なコンセプトを盛り込んだ“AGF-01/10”は開発スケジュールがギリギリまで遅れ、不眠不休のマシン製作の末、予定より1日遅れの出発で会場にマシンを持ち込みました。しかし調整や未着手パーツ類製作のため、到着後すぐにチームはマシン準備を続行。一方マネジメント班はこの日早速プレゼンテーション審査に臨み、その斬新なアイデアと熱意をアピールしました。2日目にはデザイン審査を受け、我々のチャレンジ・設計を高く評価して頂きました。しかし台風により午後には撤収することになり、車検に向けた車両準備は未だ完了せず、翌日ようやく最初の関門となる技術車検を受け5カ所の修正を経て合格を得ました。4日目、ぶっつけ本番により各部に課題を残

した状態でしたが、エンデュランス参加を目指して残りの動的車検に臨みました。メンバー総員で車検合格のため努力を尽くしましたが、燃料系トラブルからブレーキテスト1度目のトライに必要な速度を得ることが出来ず、またこの時発生した電装系トラブル修復のため車検終了間際に最後のトライを行うことが出来たものの、成功せず。またアフターファイヤによって騒音試験も未通過に終わりました。

結果は車検不通過という、競技の土俵にも上がれない屈辱的なものでしたが、私達の斬新なコンセプトに対して大会期間中、たくさんの方々へ期待を込めた言葉をかけていただきました。この猛烈な悔しさをバネに、より高い完成度と独自の夢を追求したニューマシンで必ずリベンジを果たします!

Sponsors スポンサーリスト

ヤマハ発動機、PTCジャパン、レイズ、エフ・シー・シー、NTN、デンソー、ジュニアモーターパーク クイック羽生、インターキャスト、かりがね、アディック、アルテック、ウエストレーシングカーズ、ワークスベル、宮崎鉄工所、ケンシン精機、新星機工、三友電子工業、光スロッター工作所、太陽工機、南星、KUWAHARA BIKEWORKS、大省工業

初参戦

Presentation プレゼンテーション



まず、販売戦略のプレゼンテーションは、レギュレーションの勘違いにより、プレゼンテーションが5分、質疑応答が5分とっていました。しかし、実際はプレゼンテーションだけで10分あることが判明し、10分より早めに終わってしまいました。時間に余裕が出来たおかげで、緊張がほぐれた状態で、プレゼンテーションに挑めました。結果として44位でしたが、指摘された点で裏づけ資料が少ないところがあったので、来年度はしっかりとした裏づけ資料を作ることを念頭に置き販売戦略のプレゼンテーションに挑みたいと思います。次に、コストのプレゼンテーション

ですが、結果からすると33位でした。この順位は自分達が思っていたよりも高い順位で驚きました。質問にもきちんと答えられたかどうか、コストレポートはミスが少なかったか等、初めての事だらけだったのであまり自信が無かった分、33位には本当に驚きました。第9回大会ではこれよりも上の順位を目指したいと思います。

最後に、デザインのプレゼンテーションですが、初年度という事もあり、自分達の車両で特徴もあまりなく、アピールすることが出来なかったため、あまり順位が良くありませんでした。第9回大会ではもっと多くの資料を作りアピールポイントを増やしていきます。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 56位



Profile

チーム紹介・今までの活動

去年の5月にプロジェクトを立ち上げ、約1年で大会出場に至りました。実質、マシン製作を始めたのが今年4月だったので、時間がありませんでしたが、大会に間に合いました。

Team-member

チーム代表者・亀井宏貴

池田茂樹、池田竜弘、伊藤貴徳、後垣雄太、小野静之、川端倫幸、川本拓也、北川公平、坂本朋弘、谷本優樹、辻内元樹、中西政記、長森優太、濱田幸祐、東 剛史、藤井恭兵、藤林真希、山中秀樹、(FA) 堀江昌朗

Participation report 参戦レポート

車検では、レギュレーション違反が約15カ所見つかかり、その中でも致命的なミスが3カ所ありました。それを修理工房で直していたのですが、本来なら車検が終了していた時間で車検は受けられなかったはず。しかし、プラクティスまでという条件付の車検で合格し、なんとかチャルト試験やブレーキテストも合格しました。ブレーキテストでAアームが折れてしまい、プラクティスまで進めなかったのですが、自分達の作った車両が少しでも走れたことがとても喜ばしかったです。

Sponsors スポンサーリスト

スズキ、エフ・シー・シー、NTN、RAYS、West Racing Cars、ケーター自動車、平成板金塗装、ソリッドワークス・ジャパン、ブリヂストン

チーム名

Rapidamente

Rapidamente

Rapidamente 2011

Presentation プレゼンテーション



For our car our objective is try to develop the our car according to the concept of 5-easy

- Easy to manufacturing

Fabricate from material that can be easily buy from the market

- Easy to drive

We design our car to be very efficiently all round because the beginner can drive easily without stress

- Easy to maintenance

The car were not all pretty much standard engine so the durability is high

- Easy to adjust

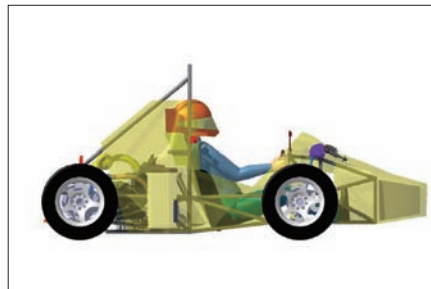
Driver can adjust the car to suit their driving character

- Easy to buy

Our car made from many reasonable price and quality material which is very cost effective in order to compete in the market

- High safety

Our car have very high strength structure design to provide highest safety for driver



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 36位

ルーキー賞 3位

Participation report 参戦レポート

Our team prepared in order to participate in this event approximately 5 months in advance and this is the first time we join this competition, including planning, research and develop, design process, and constructing our car in Thailand. We encounter many problems before we can make our way for the competition and during the competition as well. We miss the acceleration and skid-pad section due to that we didn't pass the inspection on time and we also misunderstand that the storm made the competition to be halted and stop for in the afternoon section. Finally, we join the autocross section on time and done very satisfied lap time. On the endurance section we

miss the first called due to some technical problem of the car but finally we can fix it in time. We went for the 2nd call of endurance competition, however, in the first run, our engine suddenly stop running, but luckily our car can be restarted and continue the race to the end but it made us loss a lot of time. For the suggestion, we think that the transportation should be better, for example, the shuttle bus that should pick up the student from Aino station because it is quite inconvenient to walk from there to the shuttle bus station. In conclusion we have been accomplished with our target and got very wonderful experience participating the competition.



Profile

チーム紹介・今までの活動

Team No.082 Rapidamente from Chulalongkorn university, Thailand. This is the first time we join this JSAE student formula competition.

Team-member

チーム代表者・Itthimon Udtampanya

Poonyatat Lewsuwan, Pasawat Lupakitano, Nopparat Nopsiriwong, Panus Lemvarapong, Sarasan Theathisup, Taechin Changjai, Pitchakorn Watcharanurak, Thornthanut Pakdeepinyo, Wachirawin Sirichothhakun, Nuksit Noomwongs, Chanan Ratanasumawong, Sawat Luengruengrit, Pongsakorn Boonchata, Kasidis Suwanampai, Pairoj Piankitrungreang, Chatchanee Pakavatsoontorn, Chartree Sithananun

Sponsors スポンサーリスト

SAE Thailand, Boonrawd Trading, PTT Lubricants, AOT, Cobra international, Royalcan industry, Yokohama, IRC tire, Snap-on, SKF, Lenso wheel, Central Y-club, TRR, OMP, CCS engineering, D.I.D, CRU, TRC

チーム名

フォーミュラファクトリーNATS

Formula Factory NATS

挑戦 ～初参戦を目指して～

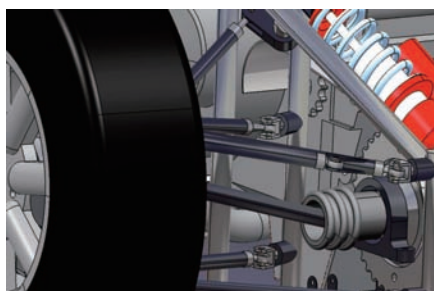
Presentation プレゼンテーション

マシン名▶▶ FF-NATS001



入れた車両をめざしているため、大型のショックアブソーバ、ロングホイールベース、高剛性フレームを採用しているので総合力の高い車両に仕上がっています。

FF-NATS001は、開発コンセプト「誰にでも扱いやすいフォーミュラカー」を目指し、製作しました。このコンセプトにした理由は、私達は扱いやすい車だからこそ安心して攻める事が出来ると考えているからです。これを実現するため、①ロール時のジオメトリ変化を少なくするため、サスペンションアーム長を稼ぐためにアーム付け根をフレーム内に配置。②低回転から乗りやすいエンジンセッティング。③多くの調整箇所を設けたサスペンションアームによるアライメントの最適化。を行いました。また、私達の車両はF-SAE大会のみならず、各地のサーキット走行を視野に



Participation report 参戦レポート

車検では、少ない修復箇所の指摘をいただいたので、念願の車検を無事に通過する事ができました。しかし車両に不安箇所があり、そのためトラブルが何点か発生し、修理に追われスキッドパッドとアクセラレーションには残念ながら出走は出来ませんでした。

テスト走行が満足に行うことが出来なかったため、セッティングに関しては全くデータの無いままオートクロスを迎えました。オートクロス時のセッティングはアンダーステアで苦しい走行となり、また車両に不安箇所を抱えていた為、思い切りの良いブレーキングができませんでした。

しかし、ここまで車両、ドライバーが不完全な状態にも関わらず、オートクロス35位の成績を考えると、大きすぎるといわれたこの車両ディメ

ンションにも可能性はあるようにも感じます。実際コースを走行した感想としても、大きさはほとんど気にならず、むしろロングスパンサスアーム、ロングホイールベースからくる安定感の恩恵を強く受けていたと思います。

この先先輩たちが、この車両ディメンションを1つの提案として、周囲にアピールしていただけることを期待しています。

Result 今回の総合結果・部門賞

総合 47位



Profile

チーム紹介・今までの活動

私達は今大会が初参戦となり、全メンバーが4年生で構成されている為、就職活動、卒業研究と多忙な時期でした。それでも「車の事なら誰にも負けない」とプロジェクトの設立、チーム結成が決まり、本格的に活動がスタートし大会に向けて持ち前の「知識」「技術」を活かして頑張ってきました。

Team-member

チーム代表者・秋山大輔

藤澤卓也、青木貴宏、木村潤野、白波瀬卓也、瀧川栄介、辻 英明、永留翔太、寺内 淳、田中哲也、田内篤之、土田大地、藤崎寿道、櫻井亮人、西部 琢、宮澤侑輔、加藤和也、小出瑛一、谷口真一、田村剛規、伊藤晋也、白土雄也、(FA) 林 英伸、(FA) 矢部光範、(FA) 上井裕一、(FA) 佐藤靖彦、(FA) 大川博規、(FA) 金井亮忠

Sponsors スポンサーリスト

本田技研工業、和光ケミカル、FCデザイン、エフ・シー・シー、RSワタナベ、ウエストレーシングカーズ、アイ・アール・エス、アイ・ディ・アイ、アール・イー・シー、神栄テクノロジー、ベルエキップ、学校法人 日栄学園 日本自動車大学校

第8回全日本 学生フォーミュラ大会を振り返って

Presentation プレゼンテーション



広島大学フェニックスレーシングは今年初参加のチームとなります。本年度はエンデュランスの完走を目標に6月半ばと比較的早い段階でのシェイクダウンを達成し、大会に向けて車両の熟成に時間を割いて信頼性を向上させる事ができました。

また電動シフターの採用、カウルの2ピース化、空気の体積効率を上げるための導風口の採用など試行錯誤の末に車両の随所に工夫を凝らしました。大会1カ月前には走りこみをしながら、燃調マップの書き換え、点火角の調整でエンジンレスポンスと加速性能を向上させました。



Result 今回の総合結果・部門賞

総合 62位

Participation report 参戦レポート

大会5日前にフレームが歪み、大会2日前に右旋回になると必ずエンジンが落ちるなどのトラブルに見舞われながらもチーム一丸となって克服し、大会に臨みました。技術車検は一発通過とならなかったものの、2時間程度あれば改修できるものだったのでほっとしました。しかし台風の接近で午後からの作業は禁止となりアクセルレーション、スキッドパッドは時間的に厳しくなりました。大会3日目朝早くに技術車検をクリアし騒音検査、チルト、ブレーキテストを通過しました。午後には初の動的審査であるオートクロスに臨みました。第1ドライバーは1分14秒と結果を残せたことに満足し第2ドライバーへ。第2ドライバーは1分6秒をマークし初出場ながら28位に着きました。翌日のエンデュランスでは途中シート

ベルトの余りが車外に出て危険と判断され、オレンジボールの提示があったものの第2ドライバーへ交代。第2ドライバーで残り7周を残したところでドライブシャフトが抜けリタイヤとなりました。両ドライバーともバイロンタッチも無く1分5~10秒程度で順調にラップを刻んでいたために残念です。総合62位と悔いの残る結果となりました。今年は時間的・人力的に静的審査にほとんど力を入れず、まともに走る車両をつくることに専念していましたが、来年は「デザインコンペティション」の名の通りコスト、デザインにも力を入れて上位入賞を狙いたいと思います。今まで支援して下さったスポンサーの皆様には感謝の気持ちで一杯です。来年も変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



Profile

チーム紹介・今までの活動

私達Phoenix Racingは2008年10月から活動を始め、今年度が初出場となります。ものづくりや車に興味があるなど様々な意見を持った学生が集まり、高い目標を持って日々活動しています。

Team-member

チーム代表者・北川幸紀

吉田健太郎、西川祐史、平 翔太、中村 渉、河村洋助、小島祐人、渡辺祥央、藤原和紀、(FA) 西田恵哉、(FA) 濱崎 洋

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、マツダ、ソリッドワークス・ジャパン、奥平パイプ興業、エフ・シー・シー、FactoryGEAR広島店、ニッポンレンタカー西条駅前営業所、ウエストレーシング、FCデザイン、日信工業、THK、協和工業、ブリヂストン、クワハラバイクワークス、NTN、A&M貿易、江沼チエン製作所、アンダーレ

Vehicle Specifications

出場校車両スペック①

8th Student Formula SAE Competition of Japan



No.	School Name	Body Color(s)	Frame	Body-work	Suspension(Front & Rear)	Overall Length Wheelbase Front/Rear Track	Gross vehicle mass (kg) F. R. Weight Dist.	Wheel & Tires	Engine Displacement max. Output	Induction type	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
1	東京大学 The University of Tokyo	Metallic blue	Tubular space frame	GFRP	Double unequal length A-Arm, Pull/Push(F/R) rod actuated spring and damper	1143(mm) 1100 / 1050 (mm)	225 (kg) 32 (mm) 50 : 50	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	Suzuki 1400 (LF194E)	Naturally aspirated	CVT	Chain & LSD	Front: 2 outboard Nissin Calipers Rear: 2 outboard Nissin Calipers	Electronically-controlled CVT
2	Sophia University	Red	Front carbon fiber, Rear steel tube semi monocoque	CFRP	Double unequal length A-Arm, Push rod actuated horizontally oriented spring and damper. (Front) Double unequal length A-Arm, Push rod actuated vertically oriented spring and damper. (Rear)	2810 (mm) 1050 (mm) 1350 (mm)	295 (kg) 32 (mm) 50 : 50	Student designed, 6 inch wide, 1 pc carbon wheel, 32mm neg. offset	2003 YAMAHA-R6 551.4 ccyl	Supercharged Engine	Pod/shifter, mounted to chassis frame, high and pul cable	3.15x4.11:3	2xWillwood Dynapro Single Bleet Caliper	Semi monocoque
3	横浜国立大学 Yokohama National University	Wine Red	Tubular space frame	GFRP	Double unequal length A-Arm, Pull rod actuated vertical oriented spring and damper & Double unequal length A-Arm, Push rod actuated horizontally oriented spring and damper	2700 (mm) 1120 (mm) 1200 (mm) 1180 (mm)	190 (kg) 35 (mm) 45 : 55	10 inch KEIZER WHEEL & 18.0x6.0-10 Hoosier Bias	FC37E HONDA CBR600RR	Naturally Aspirated	Manual	Shaft drive & Cam differential slip	2 outboard Nissin Calipers	Propeller shaft drive, Original designed differential unit, Carbon steering Wheel
4	大阪大学 Osaka University	Lime Green	Steel Spaceframe	GFRP	Front Double Wishbone Pull rod/Rear Double Wishbone Push rod	2810 (mm) 1140 (mm) 1200 / 1200 (mm)	225 (kg) 30 (mm) 49 : 51	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE	Z450P Kawasaki Z4.6R	Naturally aspirated	6 SPEED Manual Paddle Shifter	Chain Drive F.C.C. TRAC	Front and Rear 2 Outboard / Tokico Calipers	Dry Sump / Rotary Valve Throttle
5	静岡大学 Shizuoka University	Orange	Space Frame	CFRP	Double Wishbone unequal length A-Arm	2452 (mm) 1215 (mm) 1200 / 1200 (mm)	288 (kg) (With 68kg Driver) 40 (mm) 46 : 54	Rays Wheel, Bridgestone Tires	GSA-R600 K4	Naturally aspirated	Original electric shifter	F.C.C. Track, 15.7 torque bias ratio	AP RACING	Side engine layout
6	東京都立大学 Tokyo City University	Aqua Blue	steel spaceframe	GFRP	Double unequal length A-Arm, Push rod actuated horizontally oriented spring and damper	1093 (mm) 1200 / 1200 (mm)	220 (kg) 35 (mm) 50 : 50	10inch RS Watanabe Mag Eight Spoke 18x6.0-10 Hoosier Bias	HONDA/2003 CBR600RR EBL-PC4DE	Naturally aspirated	Manually actuated Paddle Shifter, Center cockpit mount	Chain Drive F.C.C. TRAC	2 outboard Nissin calipers	4 in 1 Exhaust Renovable Main Hoop Brace Steering Adjustment Paddle Shift
7	東海大学 Tokei University	Blue/White	Yellow	CFRP	Double unequal length A-Arm Pull rod, Double unequal length A-Arm Push rod	1120 (mm) 1200 (mm) 1175 - 1125 (mm)	215 (kg) 30 (mm) 45 : 55	13inch SL RAYS TE37 130/430-13 GOODYEAR Bias	GSX-R600 RS	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive F.C.C. TRAC	2 outboard, 2 outboard Nissin calipers	Carbon/Boron/Carbon Inlaid Gear Ratio Control System Center Lock
8	茨城大学 Ibaraki University	White, Black, Red	Tubular steel space frame	CFRP	F/R Push rod Double unequal length A-Arm	2820 (mm) 1050 (mm) 1650 (mm) 1175 - 1175 (mm)	210 (kg) 40 (mm) 50 : 50	13inch RACING SERVICE Watanabe 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	SUZUKI GS-R600	Natural aspiration	electric shifter	Chain/Limited Slip Differential	F/R Onboard NISSIN calipers	Li-Ion Battery/Aluminum honeycomb Emboss Impact Attenuator
9	宇都宮大学 Utsunomiya University	Green	Steel Space Frame	CFRP	Double unequal length A-Arm	2790 (mm) 1117 (mm) 1250 / 1250 (mm)	215 (kg) 34 (mm) 46 : 54	ENKEI 13 inch & BRIDGESTONE 180/510-13 Bias	Honda FCR60 CBR600RR	Naturally aspirated	Electric Shifter	Chain Drive, LSD	2 outboard AP calipers	TCS, Dry Sump, Brake balance adjuster, Dhuser
10	名古屋大学 Nagoya University	Pearl White	Steel Spaceframe	CFRP	Front : Double unequal length non-parallel A-arm push rod Rear : Double unequal length non-parallel A-arm push rod	2820 (mm) 1200 / 1200 (mm)	235 (kg) 30 (mm) 45 : 55	13inch RAYS 20.5x5.5-13 BRIDGESTONE	HONDA CBR600RR	Natural Aspirated	Manual	Chain Drive Mechanical LSD	Front: 2 outboard Nissin calipers Rear: 2 outboard Nissin calipers	Paddle shift Designed Wheel
11	豊橋技術科学大学 Toyohashi University of Technology	Black	Carbon fiber aluminum/composite honeycomb	CFRP	Pulled actuated, unequal length, non-parallel Double Wishbone	1405 (mm) 1550 (mm) 1200 / 1100 (mm)	195 (kg) 40 (mm) 50 : 50	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE	FC37E HONDA CBR600RR	Naturally aspirated	Electric Shifter	Chain Drive, LSD	All wheel Brembo calipers	One-piece CF composite monocoque, Two-speed transmission, Recycled carbon, C/C composite brake disk
12	金沢大学 Kanazawa University	Blue	4130 chromoly spaceframe	Wet lay-up GFRP	Double unequal length A-arm	2700 (mm) 1100 (mm) 1250 / 1200 (mm)	220 (kg) 30 (mm) 43 : 57	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	2003 YAMAHA YZF-R6	Turbocharged	Electric shifter	Chain drive/Mechanical LSD	2 outboard AP calipers	Dry Sump, Variable Geometry Tubing, Live Injection, MR damper, Student Designed ECU
13	京都工芸繊維大学 Kyoto Institute of Technology	Cobalt Blue	Steel tubular & Spaceframe Carbon fiber reinforced and Alend FRP	Glass and Carbon FRP 3.5kg	Front: Double unequal length and unparallel A-Arm, Pull rod style suspension Rear: Double unequal length and unparallel A-Arm, Push rod style suspension.	2450 (mm) 1090 (mm) 1450 (mm) 1150 - 1100 (mm)	165 (kg) 50 (mm) 45 : 55	Wheel: 140 mm wide, 3 pc Aluminum Rim, 25.4mm offset. Tires: 18x6.0-10 R25B Hoosier	SUZUKI LH-650 L401	Naturally Aspirated	Manually actuated paddle shifter, Center frame mount	Front 20 Outboard Rear 11 Outboard Caliper	Smart Compact	
14	国士郎大学 Kokushikan University	Black and white	Space Frame	G-FRP	Double unequal length A-Arm, Push rod actuated horizontally oriented spring and damper	2480 (mm) 1090 (mm) 1200 / 1175 (mm)	240 (kg) 48 : 52	180/510-13	In-Line 4-Cylinder	Turbocharged	Electric shifter	Chain Tension	2 outboard	Dual Injection System, Turbocharged
15	いのつくり大学 Institute of Technologists	Navy Blue	Steel Spaceframe	CFRP	Double unequal length A-arm Pull rod / Double unequal length A-arm Push rod	2820 (mm) 1008 (mm) 1650 (mm) 1250 / 1200 (mm)	215 (kg) 50 (mm) 48 : 52	13inch RAYS TE37 Hoosier Sixk	FC40E HONDA CBR600RR	Naturally aspirated	Electric Shifter	Chain Drive/ Mechanical LSD F.C.C. TRAC	2outboard willwood calipers	2unit frame/MONO Stock system
16	日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	Gold	Tubular space frame	3piece GFRP body	Double unequal length A-Arm, pull rod actuated horizontally oriented spring and damper (nonlinear)	3310 (mm) 1200 (mm) 1210 (mm) 1210 / 1100 (mm)	245 (kg) 50 (mm) 47 : 53	19 inches 6.0J, 1 pc Al Rim & 510/180-13 formula SAE Bridgestone	YAMAHA YZF-R6 1359	Naturally aspirated	Electric actuate shifter	Chain LSD	2 outboard (non linear)	
17	京都大学 Kyoto University	blue mica & night hawk black	Aluminum spaceframe	CFRP	Front : Double unequal length A-arm Push rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2870 (mm) 1180 (mm) 1600 (mm)	220 (kg) 38 (mm) 47 : 53	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	2003 YAMAHA YZF-R6	Naturally aspirated	Manual	Chain LSD	Front: 2 outboard Nissin calipers Rear: 2 outboard Willwood calipers	Dry Sump Paddle shift Carbon Steering Wheel
18	北海道大学 Hokkaido University	Hokkaido University green	steel spaceframe	GFRP	Front & Rear Double unequal length A-arm Push rod with stabilizer	2801 (mm) 1302 (mm) 1600 (mm)	255 (kg) 50 (mm) 50 : 50	10inch RS, Watanabe Mg 18.0x6.0-10 Hoosier Bias	FC40 HONDA CBR600RR07	Naturally aspirated	Manual	Chain F.C.C. LSD	2 outboard Nissin calipers	Paddle shift
19	立命館大学 Ritsumeikan University	black	Space Frame	Fiber-glass	Monoshock	2800 (mm) 920 (mm) 1530 (mm) 1180 (mm) 1200 / 1200 (mm)	225 (kg) 40 (mm) 48 : 52	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	KAWASAKI ZX600PE	Naturally Aspirated	Manual	Chain Drive & FCC TRAC	FAR 2 outboard brake	Monoshock System, Electric Shifter
22	King Mongkut's University of Technology Thonburi	black	Steel space frame	Fiber-glass	Double unequal length A-arm Push rod	2820 (mm) 1160 (mm) 1575 (mm)	230 (kg) 50.8 (mm) 50 : 50	6.5 inch wide Magnesium Rim, non-clisk & 20.0x6.5 R25B hoosier	Honda CBR600RR model 2003	Naturally Aspirated	Manually actuated paddle shifter, left side cockpit mount	Chain Drive & Clutch pack limited slip	2 outboard willwood calipers, 2 outboard Nissin calipers rear	CNC, 7075-T6 Upright with separate caliper mount
23	千葉大学 Chiba University	Black	steel spaceframe	GFRP	Front: Double unequal length A-arm Pull rod Rear: Double unequal length A-arm Pull rod	2516 (mm) 1190 (mm) 1600 (mm) 1200 / 1200 (mm)	250 (kg) 38 (mm) 44 : 58	180/510-13 Bridgestone Bias	FC37E HONDA CBR600RR	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive FCC TRAC	Front: 2 outboard Nissin calipers Rear: 2 outboard Nissin calipers	Aluminum side cowling
24	千葉工業大学 Chiba Institute of Technology	Blue	Tubular space frame	N/A	Double unequal length A-Arm, Pull rod actuated horizontally oriented spring and damper	2824.22 (mm) 1161.61 (mm) 1600 (mm) 1200 / 1200 (mm)	220 (kg) 35 (mm) 48 : 52	13 x 5.0J Mg Wheel RS WATANABE, 180/510-13 BRIDGESTONE	YAMAHA FAZER 85G2	Normal aspiration	N/A	4.33	Special cast iron, hub mounted (Front), Differential mounted (Rear), 220mm dia.	CVT Drive

Vehicle Specifications

8th Student Formula SAE Competition of Japan



出場校車両スペック②

No.	School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension(Front & Rear)	Overall Length		Gross vehicle mass	Wheel & Tires	Engine Displacement	Induction type	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
						Wheelbase	Front/Rear Track								
25	同志社大学 Doshisha University	Violet	Tubular space frame	GFRP	Front: Double unequal length A-arm. Push rod actuated horizontally oriented spring and damper. Rear: Double unequal length A-arm. Push rod actuated horizontally oriented spring damper	2740 (mm)	240 (kg)	2007 Kawasaki ZX-6R 600 (cc)	Wheel: 6inch wide, 1pc Mg Rim, +21mm offset. Tires: 180/510-13 slick Bridgestone	Naturally Aspirated	6.7 (L)	Manually actuated lever/cable, left side cockpit mount	Final Drive Ratio : 3.57 Differential : FCC track LSD	2 outboard Brembo calipers	Bamboo FRP instrument panel
						1160 (mm)	56.8 (mm)								
						1590 (mm)	45 : 55								
26	トヨタ名古屋自動車大学校 TOYOTA Technical College Nagoya	Blue, White & Red	Steel spaceframe	FRP	Front: Double unequal length A-arm Pull rod Rear: Double unequal length A-arm Push rod	2720 (mm)	324 (kg)	YAMAHA YZF-R6 SSL 599 (cc)	TANABE speed star MK-II 13-6J, GOOD YEAR FormulaEagle RS 20x7.0-13	Naturally aspirated	6 (L)	Manual	Chain Drive	Fr: BREMBO 4 pot Rr: NISSIN 1 pot	
						1275 (mm)	50 (mm)								
						1590 (mm)	50 : 50								
27	慶應義塾大学 Keio University	Black	Steel spaceframe	Fiber-glass	F&R Double unequal length A-arm Pull rod	2600 (mm)	165 (kg)	SUZUKI LT-R450 450 (cc)	13inch RAYS VOLK Racing Wheel TE37180-510-13 BRIDGESTONE Bias Slick	Naturally aspirated	4.3 (L)	Electric Shifter	Chain Drive Spool	F&R 2 outboard Nissin calipers	Monoshock suspension, Paddle shift, Mass damper, Barrel throttle
						1070 (mm)	35 (mm)								
						1530 (mm)	48 : 52								
28	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture and Technology	White	Steel Space Frame	STKM11A steel round tubing	[Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated horizontally oriented spring and damper] & [Double unequal length A-arm. Push rod actuated vertically oriented spring and damper]	2680 (mm)	220 (kg)	HONDA PC40E 599 (cc)	6 inch wide, 1pc Al Rim, 25 mm offset & 180 / 510-13 bias Bridgestone	Single	5.2 (L)	Electrical shifter actuated by servomotor	2.92 & Cam type torque sensitive LSD	Nissin	Student des/built damper
						1130 (mm)	26 (mm)								
						1600 (mm)	6 : 4								
29	ホンダテクニカルカレッジ関西 Honda Technical College Kansai	Black & Ivory	Steel Spaceframe	GFRP	Fr: Double unequal length nonparallel A-arm Pull rod Rr: Double unequal length nonparallel A-arm Pull rod	2980 (mm)	230 (kg)	PC37E HONDA CBR600RR 599 (cc)	10inch X 6inch WATANABE Mag 8 spokes 18 X 6.0-10 Hoosier Bias	Naturally aspirated	5.37 (L)	Manual 6 Speed	Chain Drive F.C.C Trac	Fr: 2 outboard Fr: 1 inboard Nissin Calipers	• Low Center of Gravity Layout (235mm) • Wide Tread • Launch Control Switch
						1085 (mm)	30 (mm)								
						1700 (mm)	43 : 57								
30	Yeungnam University	Blue & Black	steel spaceframe (1020 drawing steel tube)	Vacuum forming C-FRP, Polycarbonate	F : Double unequal length A-arm, Pull rod, anti-roll bar R : Double unequal length A-arm Push rod, anti-roll bar	2345 (mm)	225 (kg)	HONDA CBR600RR 599 (cc)	Volk 6.5 inch wide, 25mm neg. offset 20x6.0-13 R25A Hoosier	Naturally aspirated	5 (L)	Manual Paddle shifter	chain, CV joint & FCC Trac LSD	Willwood calipers	Bluetooth module TCS Carbonfiber cowl
						1330 (mm)	70 (mm)								
						1535 (mm)	45 : 55								
31	大阪産業大学 Osaka Sangyo University	Red/Black	steel space	G-FRP	F: Double unequal length A-arm Pull rod R: Double unequal length A-arm Push rod	2700 (mm)	260 (kg)	Kawasaki ZX-600FE 599 (cc)	13inch RAYS TE37	Naturally aspirated	5.5 (L)	Electric actuated shifter	FCCTRAC limited slip differential	2 out board Willwood calipers	Stabilizer
						1185 (mm)	40 (mm)								
						1590 (mm)	45 : 55								
32	岡山大学 Okayama University	Green and Black	Steel Spaceframe	GFRP	Front: Double unequal length A-arm Pull rod Rear: Double unequal length A-arm Pull rod	2600 (mm)	231 (kg)	Kawasaki ZX600R9F 599 (cc)	13inch RAYS 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	Turbocharged	6 (L)	Electric shifter	Chain drive Mechanical LSD	Front: 2 outboard Rear: 2 outboard	Turbocharger Electric Boost Control Dual Injection Electric Shift
						1210 (mm)	30 (mm)								
						1600 (mm)	50 : 50								
33	久留米工業大学 Kurume Institute of Technology	White / blue / black	Space Frame	GFRP	Double unequal length A-Arm, Pull rod. / Double unequal length A-Arm, Push rod.	2563 (mm)	235 (kg)	2007 SUZUKI LT-R450 L404 450 (cc)	RAYS TE37 / Bridgestone Bias Slick	Turbocharged	6.2 (L)	Manual	Chain drive, F.C.C. TRAC LSD	Outboard Brembo calipers	Turbo-charger, Dry sump, single cylinder engine
						1260 (mm)	38 (mm)								
						1600 (mm)	48 : 52								
34	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	Blue/Black	Space frame	GFRP	Double unequal length A-Arm.	2336 (mm)	155 (kg)	J235E 449 (cc)	Douglas 10 inch & Hoosier	NA	5.1 (L)	Sequential	Sprocket & F.C.C track	Disk brake	Light weight
						1404 (mm)	35 (mm)								
						1600 (mm)	44 : 56								
35	大同大学 Daido University	White, Turquoise blue	Steel spaceframe	Fiber-glass	Double unequal length A-arm Pull rod	2630 (mm)	196 (kg)	J326E YAMAHA WR450F 450 (cc)	10inch Douglas ATV 18.0/6.0-10 Hoosier Bias	Naturally aspirated	6.0 (L)	Manual	Chain Lock	Front: 2 out board Rear: 1 inboard Nissin calipers	Mechanical Paddle Shift
						1110 (mm)	40 (mm)								
						1600 (mm)	47 : 53								
36	静岡理工科大学 Shizuoka Institute of Science and Technology	Leyton Blue	Steel pipe space frame	G-FRP	Double wishbone suspension	2800 (mm)	200 (kg)	RL41L SUZUKI LT-R450 493 (cc)	RAYS VOLK TE-37/Bridgestone	AISHIN AMR300 supercharged	4 (L)	sequential	chain drive /helical LSD	1.5 inch dia two-pistons	Super charged single cylinder engine/ Semi-active suspension use MR fluid
						1209 (mm)	60 (mm)								
						1550 (mm)	40 : 60								
37	山梨大学 University of Yamanashi	White&Blue	Steel spaceframe	GFRP	Double unequal length A-arm Push rod	2900 (mm)	250 (kg)	N730 SUZUKI GSR600 600 (cc)	13inch RAYS TE37X 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	Naturally aspirated	6.0 (L)	Manual	Chain LSD	Front: 2 outboard Rear: 1 inboard	Exhaust catalyst
						1022 (mm)	50 (mm)								
						1685 (mm)	45 : 55								
38	名城大学 Meijo University	Blue	Pipe frame	GFRP	Double unequal length A-arm Push rod & Double unequal length A-arm Push rod	2700 (mm)	195 (kg)	YAMAHA WR450FV J326E 450 (cc)	13inch RS WATANABE 180/510-13 BRIGESTONE Bias	Naturally aspirate	3.0 (L)	Manual	Chain drive LSD	2 outboard 1 inboard	
						1000 (mm)	50 (mm)								
						1525 (mm)	48 : 52								
39	岐阜大学 Gifu University	Black	Steel Space Frame	Fiber-Glass	Double Unequal A-arm Pull Rod / Double Unequal A-arm Push Rod	2700 (mm)	205 (kg)	SUZUKI GSR600K9 600 (cc)	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE bias	Naturally Aspirated	6 (L)	4 Speed sequential paddle shift	Chain Drive F.C.C, TRAC	F&R 2outboard	Electrical shift, Electrical Water Pump, Double Reduction Gear, Carbo Upper Arm, Hollow Drive Shaft
						1150 (mm)	50 (mm)								
						1600 (mm)	45 : 55								
40	成蹊大学 Seikei University	Red & Black	Steel space frame	FRP	Front & Rear : Double unequal length non parallel A-arm pull rod	2660 (mm)	240 (kg)	PC40E HONDA CBR600RR 599 (cc)	13inch Watanabe Mg 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	Naturally aspirated	6.0 (L)	Manual	Chain drive & Mechanical LSD	Front: 2 outboard Rear: 2 outboard Nissin calipers	Single injection, Side damper, Adjustable steering
						1225 (mm)	50 (mm)								
						1600 (mm)	50 : 50								
41	九州工業大学 Kyusyu Institute of Technology	Red	Steel spaceframe	GFRP	Double unequal length A-arm Pull Rod	2658 (mm)	255 (kg)	KAWASAKI ZX600FE 599 (cc)	13inch Watanabe Mg 180/510-13 BRIDGESTON Bias	Naturally aspirated	6.0 (L)	Manual	Chain Drive & FCCTRAC	2 outboard	Muffler under Engine
						1215 (mm)	50 (mm)								
						1600 (mm)	49 : 51								
42	ホンダテクニカルカレッジ関東 Honda Technical College Kanto	White	steel space frame	Polycarbonate	Double unequal length A-arm Pull rod	2695 (mm)	155 (kg)	PE06E Honda CRF450X 450 (cc)	10inch Douglas & 18.0 X 6.0-10 hoosier Bias	Naturally aspirated	3.5 (L)	Manual	Belt Drive with L.S.D	AJP Dual piece calipers	Fuel injected Floating Differential
						1024 (mm)	70.85								
						1750 (mm)									
43	近畿大学 Kinki University	Black	Steel Tubular space frame	GFRP	Double unequal length A-Arm. Pull (or push) rod actuated spring and damper	2750 (mm)	234 (kg)	2009 Kawasaki / ZX600PE 4 cylinder 599 (cc)	13inch RAYS, 180/510-13 BRIDGESTONE	Naturally	7.5 (L)	Manual	Chain Mechanical, LSD	2 outboard NISSIN calipers	Electric shifter
						1160 (mm)	40 (mm)								
						1600 (mm)	47 : 53								
44	福井大学 University of Fukui	Orange	Steel spaceframe	GFRP	Double unequal length A-arm Pull rod	2700 (mm)	242 (kg)	SUZUKI GSR600K7 599 (cc)	14inch KOSEI K1-TS 195/60-R14 DUNLOP	Naturally Aspirated	7.2 (L)	Electric Shifter	Chain drive & F.C.C TRAC	Nissin calipers	
						1350 (mm)	80 (mm)								
						1550 (mm)	50 : 50								
45	工学院大学 Kogakuin University	Blue	鋼管スペースフレーム	CFRP	Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated horizontally oriented spring and damper	2800 (mm)	230 (kg)	Honda PC40E 600 (cc)	13 X 5J +45 4-110 Aluminium Wheel & 180/510R-13	NA	6.5 (L)	Paddle Shift	Chain Drive FCCTRAC	Outboard Brembo Caliper	
						1225 (mm)	50 (mm)								
						1600 (mm)	45 : 55								
46	Tongji University	Red & White	Steel frame	Glass fiber	A-arms style	2950 (mm)	270 (kg)	SUZUKI GSX R600 600 (cc)	205/510 R13	Naturally Aspirated	6 (L)	MT	Chain drive & Torsen	4-disc brake	Single central wheel nut
						1360 (mm)	26 (mm)								
						1580 (mm)	44 : 56								

Vehicle Specifications

8th Student Formula SAE Competition of Japan



出場校車両スペック③

No.	School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension(Front & Rear)	Overall Length		Gross vehicle mass	Wheel & Tires	Engine Displacement	Induction type	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
						Wheelbase	Ground Clearance								
						Front/Rear Track	Fr. Rr. Weight Dist			Fuel tank Volume					
47	神戸大学 Kobe University	Blue/Black/ Silver	Steel Spaceframe	GFRP & Aluminum	Double unequal length A-arm, Push rod (Front & Rear)	2593 (mm)	225 (kg)	RS-Watanabe Eight-Spoke 13-60 / Bridgestone 510/180-13	Kawasaki ZX600R9F	Naturally aspirated	Manual Rod-Linkage	Chain Drive / FC/CTRAC	NISSIN 2 Outboard Cantilever, 2 pod / 1 pod (Front / Rear)	Aluminum-panel Semi-monocoque Body	
						1130 (mm)	40 (mm)								
						1590 (mm)	48 : 52 (with 55kg driver)								
48	東京理科大学 Tokyo University of Science	Black & Pink	Steel space frame	CFRP, GFRP	Front)Double unequal length A-arm Push rod Rear)Double unequal length A-arm Pull rod	2757 (mm)	240 (kg)	13inch RS Watanabe 180-510-13 BRIDGESTONE Bias	PC37EHONDA CBR600RR	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive F.C.C.TRAC	Front)2 outboard Rear)2 outboard Nissin calipers	Evolution suspension	
						1163 (mm)	35 (mm)								
						1650 (mm)	50 : 50								
49	日本大学生産工学部 College of Industrial Technology, Nihon University	Navyblue	Tubular space frame	GFRP body,4kg complete w/ bodywork	Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated horizontally oriented spring and damper	2937 (mm)	260 (kg)	13inch RAYS,165/60-13 YOKOHAMA NEOVA AD07	PC35EHONDA CBR600F4i	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive,F.C.C TRAC	2 outboard Nissin calipers		
						1080 (mm)	50 (mm)								
						1200 (mm)	50 : 50								
51	湘南工科大学 Shonan Institute of Technology	Blue	Tubular space frame	GFRP	F: Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated oriented spring and damper R: Double unequal length A-Arm. Push rod actuated oriented spring and damper	2290 (mm)	260 (kg)	14inch 1pc rim6.1J 38mmoffset	2008 YAMAHA T-MAX DOHC 2cylinder	Naturally aspirated	CVT	Chain Drive/F.C.C TRAC	2 outboard	Side by side layout	
						1245 (mm)	70 (mm)								
						1643 (mm)	30 : 70								
53	新潟大学 Niigata University	Dark-Green-Mica-Metallic	Steel Tubular Space Frame		Double Wish Bone/Double Wish Bone	3060 (mm)	280 (kg)	13inches, Magnesium Forged & Dunlop	GSX-R600(K6)	Natural Aspiration	Manual I-type, Opposed 2 Pod 6-Speeds Sequential	Chain Drive & viscous LSD	Out-Board-Disk, Caliper(NISSIN)		
						1238 (mm)	60 (mm)								
						1700 (mm)	32: 68								
54	山形大学 Yamagata University	Brack	Steel spaceframe	Fiberglass	Double unequal length A-arm Push rod	2600 (mm)	200 (kg)	10inch RS Watanabe, Hoosier	PE06E HONDA CRF450X	Naturally aspirated	Manual	Chain, FC/CTRAC	Front:2 outboard Nissin calipers, Rear:1 Inboard Nissin caliper		
						1200 (mm)	80 (mm)								
						1600 (mm)	45 : 55								
55	明星大学 Meisei University	Blue and Yellow	Aluminum honeycomb full monocoque frame	Aluminum honeycomb full monocoque frame	(F&R) Double unequal length A-Arm. Push rod actuated spring and damper	3082 (mm)	180 (kg)	13inch Racing service watanabe 21.0 x 6.0 13 180/510-13 BRIDGESTONE Bias Slick	HONDA CBR600RR PC40	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive Mechanical LSD	2 outboard Brembo calipers	Aluminum honeycomb full monocoque frame	
						1260 (mm)	50 (mm)								
						1800 (mm)	4 : 6								
56	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	Red	Tubular space frame	GFRP	Double unequal length A-Arm	2560 (mm)	305 (kg)	RAYS TE37 Racing Wheel &195 500 R13 Continental	PC37E	Natural Aspirated	Manually actuated lever	LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard	Flat oilpan	
						1100 (mm)	50 (mm)								
						1600 (mm)	50 : 50								
58	国際情報工科大学校 International College of Information and Technology	Luster red	Front and rear Tubular space frame	G-FRP	(F&R) Double unequal length A-Arm. Push rod actuated spring and damper	2850 (mm)	340 (kg)	175x60x13 A050 ADVAN G/2S	SUZUKI GSXR600R(N-723) 4 cylinder	NA	Electromagnetic Power shift system	Honda OEM Final Drive & Differential	Honda OEM Brake Calipers	Series-Engine, Sifter Harness Less - Point of contact type	
						1185 (mm)	90 (mm)								
						1650 (mm)	40 : 60								
59	大阪府立大学 Osaka Prefecture University	Blue/White	Steel spaceframe	FRP/ Aluminum	Double unequal A-arm Pull rod&Double unequal A-arm Push rod	2700 (mm)	275 (kg)	SpeedStar Mark I & (F) 165/60R13 (R) 175/60R13	KAWASAKI ZX-6R	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive & F.C.C TRAC	2 outboard Nissin caliper	Three Pedal	
						1200 (mm)	40 (mm)								
						1800 (mm)	50 : 50								
61	愛知工業大学 Aichi Institute of Technology	Metallic green	Steel spaceframe	Fiber glass & Japanese paper	Front : Double unequal length A-arm pull rod Rear : Double unequal length A-arm push rod	2800 (mm)	210 (kg)	Front : 13inch RAYS TE37 175/60-R13 DUNLOP Radial Rear : 14inch Enkei RS+M 175/60-R14 DUNLOP Radial	SUZUKI LTR450 Quad Racer R450	Naturally aspirated	Manual	Shaft LSD	Front : 2 outboard Rear : 1 inboard Nissin calipers	Japanese paper Body work Difference wheel diameter of front 13inch and rear 14inch	
						1010 (mm)	60 (mm)								
						1762 (mm)	45 : 55								
62	大阪工業大学 Osaka Institute of Technology	yellow	steel spaceframe	GFRP	Double unequal length A-arm Pull rod & Double unequal length A-arm Pull rod	2806 (mm)	340 (kg)	13inch RAYS TE37&Goodyear	SUZUKI GSX-R600K8	Naturally aspirated	Manual	Chain&LSD	2 outboard Nissin calipers	Paddle Shift,3 Pedal	
						1183 (mm)	35 (mm)								
						1700 (mm)	50 : 50								
63	高知工科大学 Kochi University of Technology	Sky blue	Steel Tubular space frame	Fiber-glass	Double unequal length A-Arm. Push rod actuated horizontally oriented spring and damper	2595 (mm)	255 (kg)	SSR SPEED STAR MK-III/YOKOHAMA ADVAN A045	LTR450	Naturally aspirated	Manual transmission	14/48	フロントボード・対向2ポッド/インボード・対向2ポッド	キャブの腕周りを広く設計し、居住性を向上した。	
						1230 (mm)	15 (mm)								
						1965 (mm)	102 : 153								
64	崇城大学 Sojo University	Black&Silver	Steel Spaceframe	GFRP	Double unequal length A-arm Pull rod & Double unequal length A-arm Push rod	2900 (mm)	260 (kg)	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias	PC40E 2007 HONDA CBR600RR	Naturally aspirated	Manual	Chain Drive F.C.C.TRAC	2 outboard / 2 outboard Brembo calipers	Nothing	
						1305 (mm)	40 (mm)								
						1617 (mm)	45 : 55								
66	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	Yellow & Black	steel spaceframe	GFRP	Front : Double unequal length A-Arm. Pull rod Rear : Double unequal length A-Arm. Push rod	2800 (mm)	232.8 (kg)	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE	PC37E HONDA CBR600RR	Naturally aspirated	Electric shifter	Chain / CuscolSD	Front : 2 outboard Wilwood calipers Rear : 1 inboard Nissin calipers	Electric paddle shifter	
						1250 (mm)	35 (mm)								
						1650 (mm)	48 : 52								
67	日本工業大学 Nippon Institute of Technology	Metallic black /light green	AL Tubular space frame	Fiber-glass	A-arm Pull rod & A-arm Push rod	2500 (mm)	230 (kg)	13inch RS Watanabe Mg wheel & 20.5/6.0-13 R25B Hoosier	Yamaha 8GR2	Naturally aspirated	CVT, Automatic	Chain Drive& F.C.C.TRAC	2 outboard Nissin calipers	CVT, Short wheel-base	
						1300 (mm)	30 (mm)								
						1335 (mm)	50 : 50								
69	大阪市立大学 Osaka City University	Orange/ Yellow/Brack	Steel tube space frame	GFRP	Front Double unequal length A-arm Pull rod/Rear Double unequal length A-arm Push rod	2850 (mm)	240 (kg)	13inch Hayashi street 180/510-13 BRIDGESTONE	Kawasaki ZX600-N1	Naturally aspirated	Mechanical Paddle Shifter	Chain Drive/ F.C.C.Track	Front 2 Piston Caliper/Rear 1 Piston Caliper		
						1190 (mm)	40 (mm)								
						1600 (mm)	50 : 50								
73	広島工業大学 Hiroshima Institute of Technology	white	steel space pipe frame	Aluminum Plate	F : Double unequal length arm Pull rod with torsionbar R : Double unequal length arm Pull rod with torsionbar	2250 (mm)	170 (kg)	W : 13inch aluminim wheel onepeace T : 180/510-13 BRIDGESTONE	KLX450R	Naturally	Manual 5 speeds	F-chain Drive D/no diff	F:2 outboard disc brake nissin calipers R:1 inboard disc brake nissin caliper	torsionbar suspension system	
						1130 (mm)	60 (mm)								
						1530 (mm)	46 : 54								
74	麻生工科大学 Aso College of Automotive Engineering and Technology	ACET BLUE	Steel space frame	GFRP	Double wishbone A-arm Push rod	2628 (mm)	275 (kg)	RAYS 13inch / BRIDGESTON 180/510-13	SUZUKI LTR450	Naturally aspirated	Manual	Chain drive	F : 2 outboard R : 1 inboard		
						1228 (mm)	50 (mm)								
						1650 (mm)	50 : 50								
77	University of Applied Sciences - München	black	Monocoque / CFR		Front: Double unequal length A-Arm. Pull rod actuated horizontally oriented spring and damper Rear: Double unequal length A-Arm. Push rod actuated horizontally, 80 degrees to x-axis oriented spring and damper	2830 (mm)	240 (kg)	20.5x7-13 R25B Hoosier	Honda PC 40	Naturally aspirated	shifting peds (electrical actuator), on steering wheel	Adjustable between 3.14-3.33 by sprocket & Drexler Limited slip differential	AP Racing, Floating disc, hub mounted, stainless steel	apex measurement harness, ds-trip sensor (Coresil), hofel Measurement Unit, 8-eye gps, oilpressure, water temp, oiltemp, battery voltage, lighting gear	
						1120 (mm)	40 (mm)								
						1600 (mm)	50 : 50								
79	Thai-Nichi Institute of Technology	Black-Yellow	Steel Spaceframe	Fiber-Glass	Double unequal length A-arm Push rod	2670 (mm)	25 (kg)	2 Piece Aluminium, 13inch Hoosier 20.5x7.0-13 R25B	PC40EHONDA CBR600RR	Naturally aspirated	Manual	Chain LSD	4-disk system, self developed rotors with 200mm, adjustable brake balance, 2 piston caliper	Center lock wheel, 90 degree steering rack system	
						1190 (mm)	60 (mm)								
						1650 (mm)	250 : 50								
80	青山学院大学 Aoyama Gakuin University	White and Deep Green stripes	Steel Pipe Tubing	GFRP	Double Wish Bone, Inboard type, Push Rod(Front), Pull Rod(Rear)	3200 (mm)	275 (kg)	RAYS TE37 5.5J, YOKOHAMA ADVAN A050 165/55R14 (M Compound)	YAMAHA J328E (W/R450F)	Natural Aspiration	Double pull wire linkage, 5 speed sequential	Propeller & intermediate shafts, duralumin Diff. Box, F.C.C.LSD	Brembo 2pod, Drilled plane disks	Front Engine & Rear Drive, Direct Mounted Wings to Uprights	
						1500 (mm)	50 (mm)								
						1900 (mm)	50 : 50(includes driver)								

Vehicle Specifications

8th Student Formula SAE Competition of Japan



出場校車両スペック④

No.	School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension(Front & Rear)	Overall Length	Gross vehicle mass	Wheel & Tires	Engine	Induction type	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
						Overall Height	Ground Clearance		Displacement	Fuel tank Volume				
						Wheelbase	Fr. Rr. Weight Dist							
						Front/Rear Track			max. power					
									max. torque					
81	摂南大学 Setsunan University	ダークグリーン	STKM13A		Double wishbone	2950 (mm)	340 (kg)	RAYS BRIDGESTONE	SUZUKI GSX-R600 K9	8 (L)		2.678 limited slip differential	ディスクブレーキ	
						1500 (mm)			599 (cc)					
						1770 (mm)			121 (ps) / 13000 (rpm)					
						1480 / 1520 (mm)			(kgf) / 11200 (rpm)					
82	Chulalongkorn University	Black with yellow strip	Space frame	Carbon fiber	Double unequal length A-Arm	2731 (mm)	300 (kg)	Exospeed 13"×7.5" with Yokohama A005 180/50R13 (dry)	Honda CBR 600RR	6 (L)	Pneumatic	3.125 LSD	4-port caliper, 2-port 30 mm dia., 2-port 32mm dia.	
						1333 (mm)			599 (cc)					
						1620 (mm)								
						1300 / 1250 (mm)								
84	日本自動車大学校 Nihon Automobile College	Blue & Silver	Steel tubular space frame	GFRP	Double unequal length A-Arm Push rod	3068 (mm)	330 (kg)	RS Watanabe 13inch F 150/575R13 R 170/605R13 YOKOHAMA	PC37E	7 (L)	Manual	Chain Drive F.C.C TRAC	2 pod opposing piston caliper	Long Wheelbase, Wide Track and Safety
						1190 (mm)			599 (cc)					
						1997 (mm)			60.0 (ps) / 12000 (rpm)					
						1328 / 1312 (mm)			4.43 (kgf) / 7000 (rpm)					
85	広島大学 Hiroshima University	purple	Tubular Space Frame	FRP	Double unequal length A-Arm. Push rod actuated horizontally oriented spring and damper	2550 (mm)	255 (kg)	RS WATANABE (Magnesium) 180/510-13 BRIDGESTONE / 180/510-14 BRIDGESTONE	Kawasaki / Ninja ZX-6R	5.4 (L)	Manual	Chain drive / Limited slip differential	2 outboard Nissin calipers	
						1350 (mm)			599 (cc)					
						1590 (mm)			71 (ps) / 14000 (rpm)					
						1220 / 1065 (mm)			6.8 (kgf) / 11700 (rpm)					

Result of Competition

8th Student Formula SAE Competition of Japan



競技結果

Pos.	No.	Team	Cost	Presentation	Design	Acceleration	Skid Pad	Autocross	Endurance	Economy	Protest Bond	Total
1	4	大阪大学	95.0	63.75	130.0	75.00	35.21	109.09	282.00	84.50		874.55
2	2	上智大学	57.2	71.25	150.0	52.45	20.41	143.65	275.00	84.70	-25.00	829.66
3	3	横浜国立大学	61.6	67.50	140.0	50.88	21.10	150.00	271.99	63.80		826.87
4	6	東京都市大学	68.4	56.25	103.0	47.85	50.00	132.77	265.17	97.14		820.58
5	7	東海大学	36.7	63.75	83.0	53.08	17.40	129.18	276.57	86.83		746.51
6	5	静岡大学	40.8	48.75	110.0	71.34	36.40	103.09	266.89	62.57		739.84
7	34	名古屋工業大学	66.0	45.00	101.0	46.63	27.32	146.56	189.40	100.00		721.91
8	12	金沢大学	52.2	60.00	93.0	41.62	0.00	132.03	259.76	78.07		716.68
9	17	京都大学	40.9	60.00	118.0	36.68	7.74	131.58	287.60	47.56	-25.00	705.06
10	8	茨城大学	50.4	41.25	91.0	41.62	2.50	120.86	246.04	97.05		690.72
11	18	北海道大学	35.4	48.75	72.0	40.71	20.41	119.71	258.27	55.13		650.38
12	9	宇都宮大学	32.3	22.50	104.0	69.82	2.50	110.57	269.07	35.61		646.37
13	27	慶應義塾大学	71.2	45.00	92.0	42.59	2.50	70.11	245.48	67.85		636.73
14	47	神戸大学	49.1	22.50	90.0	33.67	2.50	87.39	291.12	46.90		623.18
15	31	大阪産業大学	19.3	30.00	78.0	64.96	2.50	123.75	241.18	51.69		611.38
16	40	成蹊大学	64.0	45.00	106.0	22.98	0.00	89.42	234.78	30.95		593.13
17	45	工学院大学	53.1	37.50	80.0	15.86	2.50	75.57	238.97	76.11		579.61
18	15	ものづくり大学	16.9	30.00	87.0	37.23	2.50	116.02	194.97	81.06		565.68
19	41	九州工業大学	43.7	60.00	80.0	18.05	2.50	50.50	204.02	71.61		530.38
20	23	千葉大学	53.2	56.25	69.0	39.52	2.50	56.30	173.39	60.65		510.81
21	16	日本大学理工学部	35.8	37.50	92.0	24.09	2.50	75.70	184.56	57.91		510.06
22	79	Thai-Nichi Institute of Technology	21.5	33.75	74.0	27.52	0.00	65.16	190.07	77.62		489.62
23	22	King Mongkut's University of Technology Thonburi	20.4	30.00	69.0	16.24	0.00	75.28	196.21	80.61		487.74
24	25	同志社大学	47.8	45.00	78.0	35.12	2.50	45.70	157.14	49.15		460.41
25	37	山梨大学	48.6	37.50	83.0	11.64	0.00	7.50	170.26	95.46		453.96
26	49	日本大学生産工学部	29.4	15.00	39.0	0.00	0.00	52.55	200.56	75.99		412.50
27	67	日本工業大学	-100.0	33.75	72.0	33.94	2.50	71.80	170.35	89.65		373.99
28	10	名古屋大学	65.0	48.75	110.0	48.66	2.50	89.73	0.00	0.00		364.64
29	1	東京大学	54.3	75.00	121.0	14.91	7.68	89.04	0.00	0.00		361.93
30	13	京都工芸繊維大学	53.3	63.75	102.0	20.41	0.00	119.24	0.00	0.00		358.70
31	19	立命館大学	9.8	30.00	56.0	0.00	0.00	78.89	121.94	61.06		357.69
32	26	トヨタ名古屋自動車大学校	6.2	30.00	49.0	3.50	2.50	72.29	136.33	55.37		355.19
33	14	国士館大学	-100.0	18.75	40.0	46.13	0.00	53.06	156.69	83.11		297.74
34	56	東京工業大学	27.8	33.75	27.0	46.74	0.00	146.50	0.00	0.00		281.79
35	66	芝浦工業大学	37.4	45.00	69.0	17.00	2.50	103.87	0.00	0.00		274.77
36	82	Chulalongkorn University	9.7	41.25	33.0	0.00	0.00	89.47	57.64	43.59		274.65
37	29	ホンダテクニカルカレッジ関西	33.4	45.00	81.0	35.99	2.50	74.77	0.00	0.00		272.66
38	77	University of Applied Sciences - München	21.9	56.25	135.0	44.05	2.50	7.50	0.00	0.00		267.20
39	38	名城大学	82.4	52.50	93.0	4.21	2.50	20.73	0.00	0.00		255.34
40	43	近畿大学	43.1	33.75	64.0	3.50	2.50	98.62	0.00	0.00		245.47
41	33	久留米工業大学	16.7	41.25	71.0	31.41	2.50	102.23	-25.00	0.00		240.09
42	32	岡山大学	44.2	52.50	119.0	9.40	0.00	26.24	-25.00	0.00		226.34
43	58	国際情報工科大学校	26.0	15.00	0.0	0.00	0.00	7.50	125.61	52.14		226.25
44	11	豊橋技術科学大学	40.3	37.50	125.0	0.00	0.00	7.50	0.00	0.00		210.30
45	28	東京農工大学	68.0	33.75	105.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		206.75
46	36	静岡理工科大学	3.0	37.50	55.0	38.91	2.50	63.90	0.00	0.00		200.81
47	84	日本自動車大学校	30.8	37.50	52.0	0.00	0.00	64.83	0.00	0.00		185.13
48	62	大阪工業大学	45.5	33.75	90.0	0.00	0.00	7.50	0.00	0.00		176.75
49	39	岐阜大学	55.9	33.75	71.0	3.50	0.00	7.50	0.00	0.00		171.65
50	35	大同大学	73.3	18.75	58.0	5.65	2.50	11.04	0.00	0.00		169.24
51	69	大阪市立大学	50.9	30.00	87.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		167.90
52	48	東京理科大学	51.1	52.50	48.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		151.60
53	46	Tongji University	26.5	30.00	69.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		125.50
54	44	福井大学	26.6	18.75	60.0	3.50	2.50	7.50	0.00	0.00		118.85
55	53	新潟大学	48.8	45.00	0.0	0.00	0.00	19.17	0.00	0.00		112.97
56	81	摂南大学	38.2	30.00	38.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		106.20
57	73	広島工業大学	21.7	22.50	41.0	10.62	0.00	33.64	-25.00	0.00		104.46
58	64	崇城大学	32.4	18.75	49.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		100.15
59	59	大阪府立大学	38.4	3.75	36.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		78.15
60	54	山形大学	24.1	11.25	32.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		67.35
61	61	愛知工業大学	31.3	33.75	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		65.05
62	85	広島大学	-100.0	18.75	25.0	0.00	0.00	75.43	0.00	0.00		19.18
63	24	千葉工業大学	-100.0	33.75	80.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		13.75
64	80	青山学院大学	-100.0	30.00	62.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		-8.00
65	51	湘南工科大学	-100.0	15.00	64.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		-21.00
66	74	麻生工科大学校	-48.2	11.25	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		-36.95
67	63	高知工科大学	-100.0	7.50	51.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		-41.50
68	30	Yeungnam University	-100.0	18.75	62.0	0.00	0.00	0.00	-25.00	0.00		-44.25
69	55	明星大学	-100.0	11.25	33.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		-55.75
70	42	ホンダテクニカルカレッジ関東	-100.0	26.25	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		-73.75

会場図 / 集合写真



第8回全日本 学生フォーミュラ大会レビュー

発行
2010年12月1日

発行所
社団法人自動車技術会

発行人
新井雅隆
〒102-0076 東京都千代田区五番町10番2号
☎03-3262-8211
©社団法人自動車技術会
2010

本誌に掲載された全ての内容は、社団法人自動車技術会の許可なく転載・複写することはできません。